

令和5年度 中川区区政運営方針

令和5年5月

区のマスコットキャラクター



ナッピー



ハボン

目 次

1	はじめに	
(1)	区政運営方針について	1
(2)	中川区将来ビジョンについて	1
(3)	中川区将来ビジョンの成果指標の進ちょくについて	2
(4)	令和4年度の区政運営方針掲載事業の評価について	5
(5)	事業シートの記載について	8
(6)	SDGsに向けた取り組みについて	8
2	事業シート	
	「安心・安全きれいなまち」に向けた取り組み	
	施策1－1 地域防災力の向上	9
	施策1－2 防犯対策・交通安全対策の推進	17
	施策1－3 快適に暮らせる環境づくり	23
	「みんなにやさしいまち」に向けた取り組み	
	施策2－1 子育て環境の充実	26
	施策2－2 子ども・青少年の健全育成	36
	施策2－3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり	41
	「魅力あふれるまち」に向けた取り組み	
	施策3－1 区民のふれあいと交流の推進	48
	施策3－2 まちの魅力の発掘・発信	50
	その他の取り組み	
	つながりづくりに向けた取り組み	59
	住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み	60
	令和4年度終了事業	64
3	令和5年度の主な予算	
(1)	自主的・主体的な区政運営にかかる予算	66
(2)	区の特性に応じたまちづくり事業にかかる予算	66
4	区まちづくり基金	66
5	関係公署（所）の取り組み	67
6	区役所の組織及び連絡先	69

掲載している内容については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して作成しておりますが、感染拡大の状況を踏まえて、大幅に変更する場合があります。

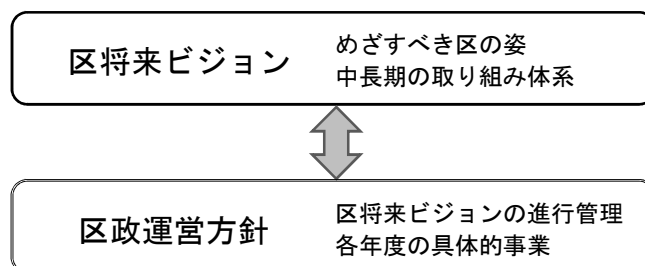
日時や場所など詳細については、適宜担当課にご確認いただきますようお願いいたします。

1 はじめに

(1) 区政運営方針について

区政運営方針は、区が実施する主な取り組みを年度ごとに皆さんにお知らせするものです。各取り組み内容は9ページ以降の事業シートに掲載しています。

また、区政運営方針は令和2年5月に策定した中川区将来ビジョンで示す取り組み内容((2)の表をご参照ください)に基づいて事業を記載しており、中川区将来ビジョンで定める成果指標の進ちょく状況等も併せて掲載しています。



(2) 中川区将来ビジョンについて

中川区将来ビジョンは、区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすまちの姿を明らかにし、令和2年度から令和5年度までの4年間の中長期の取り組みを以下のとおり体系化したものです。

表中の()内は、9ページ以降の掲載事業の数

区 分		取り組み内容
め ざ す ま ち の 姿	安心・安全 きれいなまち (17 事業)	施策1-1 地域防災力の向上 (8) 施策1-2 防犯対策・交通安全対策の推進 (6) 施策1-3 快適に暮らせる環境づくり (3)
	みんなに やさしいまち (22 事業)	施策2-1 子育て環境の充実 (10) 施策2-2 子ども・青少年の健全育成 (5) 施策2-3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり (7)
	魅力 あふれるまち (11 事業)	施策3-1 区民のふれあいと交流の推進 (2) 施策3-2 まちの魅力の発掘・発信 (9)
その他の取り組み※ (5 事業)		1 つながりづくりに向けた取り組み (1) 2 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み (4)

※中川区将来ビジョン第5章「めざすまちの姿の実現に向けて」に関わる取り組み

(3) 中川区将来ビジョンの成果指標の進ちょくについて

中川区将来ビジョンに掲げる施策の成果を計る「ものさし」として18の指標を定めており、計画終期（令和5年度）の目標値に対する毎年度の進ちょく状況をお知らせしています。

令和4年度の進ちょく状況は以下の通りです。

めざすまちの姿	進ちょく状況別指標数					
	A	B	C	D	—	合計
安心・安全きれいなまち	3	—	1	3	—	7
みんなにやさしいまち	3	—	1	3	—	7
魅力あふれるまち	3	—	—	1	—	4
合計	9	0	2	7	0	18

(注) 令和4年度の基準値に対する進ちょく状況を以下のように評価しています。

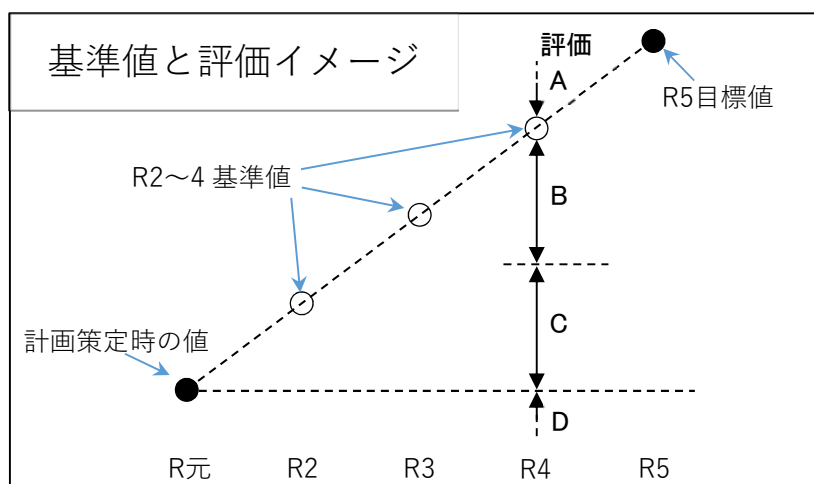
記号	基準
A	令和4年度の基準値を達成した (基準値に対する実績値の割合が100%以上)
B	計画策定時の値に対して向上した (基準値に対する実績値の割合が50%以上100%未満)
C	計画策定時の値に対してやや向上または維持した (基準値に対する実績値の割合が0%以上50%未満)
D	計画策定時の値を下回った (基準値に対する実績値の割合が0%未満)
—	計画していた事業の中止により実績値がとれなかった

令和4年度の基準値の算定方法は次の通り

計画策定時の値 + (令和5年度の目標値 - 計画策定時の値) × 3/4

基準値に対する実績値の割合の算定方法は次の通り

(4年度の実績値 - 計画策定時の値) ÷ (4年度の基準値 - 計画策定時の値)



安心・安全きれいなまち 施策１－１ 地域防災力の向上

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和４年度基準値	令和４年度実績値	評価
防災対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	47.7%	55%	53.2%	58.7%	A
地区防災カルテを活用した防災活動に取り組んでいる学区の割合	41.7%	100%	85.5%	100%	A

安心・安全きれいなまち 施策１－２ 防犯対策・交通安全対策の推進

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和４年度基準値	令和４年度実績値	評価
防犯対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	55.8%	60%	59.0%	55.7%	D
交通安全対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	57.6%	65%	63.2%	56.2%	D
交通安全教室の開催回数	79 回	90 回	88 回	53 回	D

安心・安全きれいなまち 施策１－３ 快適に暮らせる環境づくり

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和４年度基準値	令和４年度実績値	評価
快適な環境づくりへの取り組みが進んでいると思う区民の割合	46.7%	55%	53.0%	54.0%	A
クリーンキャンペーンの参加人数	9,727 人	10,000 人	9,932 人	9,731 人	C

みんなにやさしいまち 施策２－１ 子育て環境の充実

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和４年度基準値	令和４年度実績値	評価
子育て支援の取り組みが進んでいると思う区民の割合	53.8%	60%	58.5%	64.1%	A
なかがわっ子サポーター活動件数	255 件	300 件	289 件	238 件	D

みんなにやさしいまち 施策２－２ 子ども・青少年の健全育成

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和４年度基準値	令和４年度実績値	評価
青少年育成への取り組みが進んでいると思う区民の割合	34.4%	40%	38.6%	50.1%	A
子ども会への加入率	24.6	25%	24.9%	18.5%	D

みんなにやさしいまち 施策２－３ 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和４年度基準値	令和４年度実績値	評価
高齢者・障害者支援への取り組みが進んでいると思う区民の割合	50.3%	55%	53.9%	56.8%	A
高齢者サロン・共生型サロンの実施数	120 箇所	122 箇所	121 箇所	119 箇所	D
認知症サポーター養成講座受講者数（累計）	10,540 人	16,200 人	14,785 人	12,383 人	C

魅力あふれるまち 施策３－１ 区民のふれあいと交流の推進

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和４年度基準値	令和４年度実績値	評価
区民のふれあいや交流を推進する取り組みが進んでいると思う区民の割合	62.7%	70%	68.2%	55.2%	D
区民まつり来場者アンケートにおける満足度	95.7%	95%以上	95%以上	95.8%	A

魅力あふれるまち 施策３－２ まちの魅力の発掘・発信

指 標	計画策定時の値	令和５年度目標値	令和４年度基準値	令和４年度実績値	評価
まちの魅力を発掘・発信する取り組みが進んでいると思う区民の割合	42.8%	50%	48.2%	52.8%	A
S N Sによる発信件数	65 件	80 件	77 件	217 件	A

(4) 令和4年度の区政運営方針掲載事業の評価について

令和4年度の区政運営方針において、事業シートに掲載したすべての事業について計画目標を定め、その評価を行いました。(実施結果の詳細は9ページ以降の事業シート「令和4年度の実施結果」をご覧ください。)

めざすまちの姿	評価別事業数				
	☆☆☆	☆☆	☆	—	合計
安心・安全きれいなまち	14	1	0	0	15
みんなにやさしいまち	13	8	0	0	21
魅力あふれるまち	9	2	1	0	12
その他の取り組み	5	0	0	0	5
合計	41	11	1	0	53

(注) 計画目標に対して実際にどの程度実施したかを以下の記号で示しています。

記号	基準
☆☆☆	当初計画に対し、おおむね十分に実施できたもの [当初計画の事業量に対して概ね8割以上]
☆☆	当初計画に対し、やや不足が見受けられたもの [当初計画の事業量に対して概ね5割以上8割未満]
☆	当初計画に対し、不足が見受けられたもの [当初計画の事業量に対して5割に満たない]
—	当初計画を全く実施できなかったもの(新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたもの等を含む)

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、当初計画の事業は実施できず、代替事業を行った場合は、当該事業の効果を考慮の上、「☆☆」または「☆」で評価しています。

※事業名及び横に記載の数字は、令和4年度のものになります。

事業名		評価
1 安心・安全きれいなまち		
施策1-1 地域防災力の向上		
1	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ①地域特性に応じた防災活動を洗い出すための支援	☆☆☆
2	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ②地域特性に応じた防災活動の支援	☆☆☆
3	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ③講演会の実施を通じた地域防災活動の支援	☆☆☆
4	「地域防災マネジメント事業」の推進に係る消防署との連携	☆☆☆
5	災害対応体制の強化	☆☆☆
6	セーブ・ザ・なかがわっ子プロジェクト～子どもを守るつながりづくり～ 子どものいのちを守る子育て防災対策事業	☆☆☆
7	防災協力農地の登録・周知の推進	☆☆☆
施策1-2 防犯対策・交通安全対策の推進		
8	防犯対策の推進	☆☆☆
9	地域における自転車パトロールの推進	☆☆
10	交通安全対策の推進	☆☆☆
11	地域の力で子どもを守る交通安全見守り事業	☆☆☆
12	自転車乗車時のヘルメット着用推進	☆☆☆
施策1-3 快適に暮らせる環境づくり		
13	クリーンキャンペーンの実施	☆☆☆
14	空地・空家等の適切な管理の推進	☆☆☆
15	ペットと暮らす快適なまちづくり運動の推進	☆☆☆

事業名			評価	
2 みんなにやさしいまち				
新	施策2ー1 子育て環境の充実			
	16	子育て支援に関する情報発信	☆☆☆	
	17	妊産婦及び新生児・乳児への育児支援	☆☆☆	
	18	中川区シェアボックス事業	☆☆	
	19	子育て支援講座の開催	☆☆☆	
	20	発達に遅れのある子どもの親を対象とした支援	☆☆☆	
	21	子育て家庭向け交流イベントの開催	☆☆☆	
	22	地域における子育て支援の人材育成と活動促進	☆☆☆	
	23	地域の子育てサロンの運営支援	☆☆	
	24	児童虐待防止の推進・啓発	☆☆☆	
	25	子ども連れの来庁者が安心して過ごせるスペースの運営	☆☆	
	施策2ー2 子ども・青少年の健全育成			
26	青少年育成区民大会・青少年音楽のつどいの開催	☆☆☆		

27	子ども会活動への支援	☆☆
28	思春期セミナーの実施	☆☆☆
29	高校生向け思春期保健事業	☆☆
30	生活保護世帯等の中学生の学習支援	☆☆☆
施策2-3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり		
31	「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けての取り組み	☆☆☆
32	認知症を理解し地域で支える仕組みづくり	☆☆
33	高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	☆☆☆
34	障害者の地域生活支援	☆☆☆
35	障害の理解の促進	☆☆
36	区民の健康づくりの推進	☆☆

事業名			評価
3 魅力あふれるまち			
新 新	施策3-1 区民のふれあいと交流の推進		
	37	区民まつりの開催	☆☆☆
	38	スポーツ・生涯学習の推進	☆☆☆
	施策3-2 まちの魅力の発掘・発信		
	39	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～前田利家公がつなぐまちづくり～	☆
	40	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～戸田の伝統文化がつなぐまちづくり～	☆☆
	41	川を生かしたまちづくり	☆☆
	42	未来へつなげよう、ものづくりのまち中川	☆☆☆
	43	まちの歴史文化を伝える・広める	☆☆☆
	44	ナッピーによるふれあい・啓発活動	☆☆☆
	45	中川区みんなで歌おう第九コンサート	☆☆☆
	46	ベジファーマーの育成	☆☆☆
	47	地域の特産農産物のPR	☆☆☆
	48	さまざまなメディアを活用した情報発信	☆☆☆

事業名		評価	
その他(めざすまちの姿の実現に向けての取り組み)			
	1 つながりづくり♡まちづくり		
	49	町内会・自治会の加入促進	☆☆☆
	2 住民に身近な総合行政機関		
	50	区民の声を区政に反映	☆☆☆
	51	利用しやすい区役所づくりの推進	☆☆☆
	52	地域の皆さまとの協働による富田地区の魅力と情報の発信	☆☆☆
	53	季節の花でおもてなし	☆☆☆

(5) 事業シートの記載について

9 ページ以降に掲載する事業シートは、新型コロナウイルス感染症対策が必要な状況が続いた場合を想定して作成し、感染状況に応じた対策をとったうえで実施する事業には「感染対策」のマークを付しています。また、不特定多数の方が一か所に集まるため感染対策に特に配慮する必要がある事業などについては、併せて具体的な対策の内容も記載しています。なお、感染状況等によっては、やむを得ず事業方法の見直し、縮小、中止とする場合があります。

(6) SDGs※に向けた取り組みについて

事業シート上では各事業に対して SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けたゴールを表示しておりますが、めざすまちの姿に対応したゴールについては以下のとおり区将来ビジョンにおいて設定しております。

各事業の実施にあたっては、当該ゴールを意識して進めてまいります。

その1 安心・安全きれいなまち



その2 みんなにやさしいまち



その3 魅力あふれるまち



※SDGs とは、国連サミットで採択されたもので「誰一人取り残さない」ことを基本理念とし、17 のゴールを掲げる国際社会共通の目標です。

2 事業シート

めざすまちの姿 安心・安全きれいなまち 施策 地域防災力の向上

1. 令和5年度事業内容等

No.	1	事業名	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ①地域特性に応じた防災活動を洗い出すための支援	区分	継続
担当課	総務課	関係部署（所）	消防署ほか		
趣 旨	学区ごとに「地区防災カルテ※」を活用した話し合いを行う中で、次に取り組むべき防災活動を洗い出し、地域特性に応じた防災活動を進めることで、地域防災力を向上させる。				
事業予定	学区ごとに住民の防災意識の醸成を図り、主体的な活動への意欲を図る。 1 地域特性及び防災活動状況の把握 <u>感染対策</u> 新たなハザードマップ等を活用して学区における地域の災害リスク等を把握し、地域特性について広く認識することができるよう住民に周知するためのチラシ作成等による支援を行う。 2 地域特性に応じた防災活動の検討 <u>感染対策</u> コロナ禍を踏まえた防災活動として具体的な活動事例を示す等、学区がより主体的に次に取り組むべき防災活動を検討することができるよう支援する。				
計画目標	地域特性に応じた防災活動の検討 全学区				

※地区防災カルテ

大規模災害に備え、よりきめ細やかな地域の防災活動を推進・支援していくため、地域の地形、歴史、災害リスク、防災活動状況など、防災に関する情報を学区ごとにまとめたもの。

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行い、地域特性に応じた防災活動を洗い出すための支援の実施 全学区
実施内容	1 地域特性及び防災活動状況の把握 <u>感染対策</u> 「地区防災カルテ」を新たなハザードマップの内容に更新し、全学区において学区の特性に応じた防災活動の実施などについて話し合いを行った。 2 地域特性に応じた防災活動の洗い出し <u>感染対策</u> コロナ禍でも実施できる防災活動など具体的な活動事例を示し、全学区において地域の実情に応じた防災活動を検討した。
実績	「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行い、地域特性に応じた防災活動を洗い出すための支援の実施 全学区
総括	地区防災カルテやハザードマップマップ等を活用した話し合いにより、地域特性への理解を深められた。 今後は地域特性を住民にも理解していただき、自らの命を守るための防災活動を幅広く検討していただけるよう、学区への情報提供や助言等による寄り添った支援が必要である。

1. 令和5年度事業内容等

No.	2	事業名	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ②地域特性に応じた防災活動の実施	区分	継続
担当課	総務課	関係部署（所）	消防署ほか		
趣 旨	学区ごとに「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行う中で、次に取り組むべき防災活動を洗い出し、地域特性に応じた防災活動を進めることで、地域防災力を向上させる。				
事業予定	学区の特性等を踏まえ、発災時に住民が自らの命を守る行動ができるよう、地域における防災活動の企画、運営を支援していく。 ・地域特性に応じた防災活動の実施 <u>感染対策</u> 関係部署と連携して支援を行うことにより、学区における地域の災害リスクなどを踏まえた課題に対応する防災活動の実施を促進する。				
計画目標	地域特性に応じた防災活動の実施 各学区1回				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	地域特性に応じた防災活動の実施 各学区1回
実施内容	・地域特性に応じた防災活動の実施 <u>感染対策</u> 「地区防災カルテ」を活用した話し合いを行う中で洗い出された課題に対応する防災活動を実施した。
実績	地域特性に応じた防災活動の実施 各学区1回以上
総括	全学区で避難所に応じて新たに配備された災害用無線 LAN などの資機材の設置訓練などに加え、各学区で自主防災訓練等の実施により地域で必要な防災活動が実施された。 今後は、地域特性を反映し、発災時を視野に入れた具体的な防災活動が推進されるよう、学区に寄り添った支援を継続していく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	3	事業名	「地区防災カルテ」を活用した防災活動の推進 ③講演会の実施を通じた地域防災活動の支援		区分	継続
担当課	総務課		関係部署（所）	—		
趣 旨	講演会を通じて、防災について考えるきっかけや学ぶ機会を提供していくことで地域特性に応じた防災活動の充実・活性化を図り、地域防災力を向上させる。					
事業予定	発災時に一人も命を失わないために、住民が必要な知識を習得できるようにし、各自が防災について意識できるようにする。 ・ 防災講演会の実施 <u>感染対策</u> 地域の防災力向上に不可欠な要素である、自分の命は自分で守る「自助」や地域で助け合う「共助」について、住民の知識を深め、意識を高めるために、防災講演会を実施する。					
計画目標	防災講演会の実施 1回					

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	防災講演会の実施 1回
実施内容	・ 防災講演会の実施 <u>感染対策</u> 中川区地域女性活動促進事業実行委員会と連携して、女性視点での防災活動をテーマにした講演会を開催した。(11月16日)
実績	防災講演会の実施 1回
総括	避難所等で女性が活躍した事例を学び、避難所運営等にあたって女性視点からどのような活動が必要かを考えるきっかけをつくることができた。 今後は、発災時に自分の命を守るために必要な知識等を学ぶことができるよう、支援の対象者に合わせた形で、関係課や関係機関と連携した講演等を企画していく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	4	事業名	「地域防災マネジメント事業」の推進に係る 消防署との連携	区分	継続
担当課		総務課	関係部署（所）	消防署	
趣 旨		消防署と連携し、「家庭及び地域の防災力」を詳細に捉えて、災害時に命を守る「自助」の取り組みを推進するとともに、町内会レベルで結成される「個々の自主防災組織」の活動活性化に向けた働きかけを実施する。			
事業予定		地域ごとの特性の違いや、住民の世帯状況による防災意識の違いを把握し、自助・共助等の啓発をすすめる機会とする。 1 戸別訪問の機会を活用した意識啓発 感染対策 消防署が実施する戸別訪問と連携して、各家庭の訪問時に家具転倒防止対策の実施状況の聞き取り調査や防災対策についての啓発を実施し、家庭内における「命を守る」ための取り組みを働きかけていく。 2 自主防災組織への活動支援 感染対策 個々の自主防災組織が実施する防災活動に対して、消防署と連携しながら自助・共助につながる活動支援を行う。			
計画目標		「戸別訪問」の実施 7学区（約28,500世帯）			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	「戸別訪問」の実施 約24,000世帯（6学区）
実施内容	1 戸別訪問による防災用品を活用した意識啓発 感染対策 消防署の戸別訪問と連携して、各家庭の訪問時に家具転倒防止対策の実施状況等の聞き取りやリーフレットの配布等により防災対策についての啓発を実施した。 （戸別訪問実施学区：昭和橋、中島、明正、西中島、八幡、戸田） 2 個々の自主防災組織への支援 感染対策 地域に密着した個々の自主防災組織に対する活動支援を、消防署と連携して各家庭での備えや避難所の運営などについての訓練や講習を実施した。
実績	「戸別訪問」の実施 約25,900世帯（6学区） （令和4年度までに24学区中10学区で実施済み）
総括	戸別訪問は、各家庭と直接向き合い、住民に対して防災の取組みを推進できる貴重な機会として有効であった。 今後は、住民の防災に対する意識や課題を吸い上げる機会としても捉える等、消防署等の関係機関と連携して、地域課題等の把握と課題解決に取り組んでいく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	5	事業名	災害対応体制の強化	区分	継続
担当課		総務課	関係部署（所）	消防署ほか	
趣 旨		名古屋市災害対策本部の「区本部」として、市本部はもとより各関係機関と連携して、迅速かつ強力な災害対応にあたるために体制の強化を図る。			
事業予定		各種訓練を通じ、自助・共助の意識を地域に根付かせるとともに、関係機関との連携による公助の体制構築と住民への周知を図り安心感を与える。 1 発災時初動シミュレーション訓練の実施 <u>感染対策</u> 区役所の災害対応力の向上を図るため、発災当初必要となる対応について、区職員を対象とした訓練及び行動内容や必要物品等の検討を実施する。 2 関係機関との連携訓練の実施 <u>感染対策</u> 5月に総合水防訓練、9月には重点区として総合防災訓練を実施し、市本部、災害救助地区本部（学区）及び関係機関と連携しながら、参加住民の自助・共助につながる行動を中心とした住民参加型訓練を実施する。 区医師会等と災害時医療救護所開設・運営訓練、区社会福祉協議会及び名古屋なかがわ災害ボランティアネットワークと災害ボランティアセンター開設・運営訓練、中川警察署等と遺体安置所開設・運営訓練を各機関との協働により実施する。			
計画目標		発災時初動シミュレーション訓練、総合水防訓練、総合防災訓練、災害時医療救護所開設・運営訓練、災害ボランティアセンター開設・運営訓練、遺体安置所開設・運営訓練 各1回			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	発災時初動シミュレーション訓練、総合水防訓練、総合防災訓練、災害時医療救護所開設・運営訓練及び災害ボランティアセンター開設・運営訓練の実施 各1回
実施内容	1 災時初動シミュレーション訓練の実施 <u>感染対策</u> 発災直後の初動期に、区職員の的確かつ迅速な初動対応を図るための訓練を実施。（2月28日） 2 関係機関との連携訓練の実施 <u>感染対策</u> 新型コロナのため、災害時医療救護所開設・運営訓練は中止。 総合水防訓練は5月29日に西中島小学校、総合防災訓練は9月4日に千音寺小学校でそれぞれ実施。 区社会福祉協議会及び名古屋なかがわ災害ボランティアネットワークとの協働により災害ボランティアセンター開設・運営訓練を実施。（12月11日）
実績	発災時初動シミュレーション訓練の実施 1回 総合水防訓練、総合防災訓練の実施 各1回 災害ボランティアセンター開設・運営訓練の実施 1回
総括	総合水防訓練及び総合防災訓練は、コロナ禍の中、3年振りに感染症対策を講じた上で住民参加型訓練を実施することができた。 今後は、住民が発災時を意識し、自助や共助につながる行動を中心とした住民参加型訓練を、関係機関との連携を強化する中で、内容や実施方法を充実していく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	6	事業名	災害に強い「ひと・まちづくり」事業	区分	新規
担当課	総務課		関係部署（所）	—	
趣 旨	小中学生を含む地域住民を対象として、地域における防災人材の継続的な育成を図り、地域防災力を向上させる。				
事業予定	地域における防災意識の向上や防災人材の育成を図るため、小中学生を含む地域住民を対象とした避難所開設キットを活用した訓練を実施するなど、人材育成手法の検証を行う。 1 避難所開設キットの製作 防災意識の向上を図るため、小中学生や避難所開設の経験がない地域住民にも活用しやすい避難所開設キットを製作する。 2 避難所開設キットを活用した訓練 小中学生を含む地域住民を対象として、避難所開設キットを活用した訓練を実施し、訓練実施後に参加者の防災意識の変化などを確認し、効果検証を行う。				
計画目標	避難所開設キットの製作、活用訓練の実施				

1. 令和5年度事業内容等

No.	7	事業名	セーブ・ザ・なかがわっ子プロジェクト ～子どもを守るつながりづくり～ 子どものいのちを守る子育て防災対策事業	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	総務課		
趣 旨	南海トラフ地震や風水害等の大規模災害から子どものいのちを守るために、愛知県立大学と協働して保育園をモデルとした防災対策を策定・検証し、在宅の子育て家庭に対してセミナー等を開催する。				
事業予定	愛知県立大学との協働により作成した防災対策冊子、ビデオを活用し、災害弱者対策を中心とした住民の命を守る事業等への支援を行う。 愛知県立大学と連携し、下記の活動を実施する。 - 子育て家庭防災セミナーの実施 感染対策 地域子育て支援拠点と連携し、講座として「子育て家庭防災セミナー」を実施し、在宅における子育て家庭の防災について学ぶ機会を提供する。 - 子育て家庭が集まるイベントに防災ブースを設置 感染対策 子育て家庭が集まるイベントに子育て防災のブースを作り、「中川区子育て家庭の防災 BOOK」の配布やミニ講座など子育て家庭等災害弱者向けの在宅での防災の周知に努める。 - 施設向け防災対策の支援 保育所等の福祉施設における防災対策構築にかかる支援				
計画目標	子育て家庭向け防災セミナー及びイベント参加による周知の機会 2回以上				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	子育て家庭向け研修の実施 1回以上
実施内容	愛知県立大学と連携し各種研修を実施 - 子育て家庭向け防災研修 「中川区子育て家庭の防災 BOOK」を活用し、保育園を通じて子育て家庭向け防災の啓発を行った。 - 施設向け防災対策研修の実施 防災対策研修ビデオを活用した保育園等の施設における防災対策研修を実施した。
実績	子育て家庭向け研修の実施 1回以上
総括	子育て家庭向け防災研修や保育園向け防災研修を実施し、策定した防災対策を冊子等により子育て家庭に伝えることができた。 今後は、災害弱者向け防災対策について、住民向け周知や施設への支援を広げていき、自助・共助の推進を図っていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	8	事業名	防災協力農地の登録・周知の推進	区分	継続
担当課		中川農政課	関係部署（所）	—	
趣 旨		大規模地震が発生した際に、一時的避難空間や災害復旧用資材置場、火災延焼を防ぐオープンスペースとして活用できる防災協力農地の登録と周知を推進する。			
事業予定		・ 受付窓口及び郵便物発送時の案内 農家への郵送物を送る際や、生産緑地の追加指定、特定生産緑地への移行申請の際など、農地所有者に窓口で制度説明を行い、登録の協力を要請する。			
計画目標		防災協力農地の年度末登録数 50 か所以上			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	防災協力農地の年度末登録数 50 か所以上
実施内容	・ 受付窓口及び郵便物発送時の案内 農家へ郵送物を送る際や、生産緑地の追加指定、特定生産緑地への移行申請の際など、農地所有者に窓口で制度説明を行い、登録の協力を要請した。
実績	防災協力農地の年度末登録数 42 か所
総括	市街化区域内の農地は毎年減少し、それに伴い生産緑地の追加指定も近年減少している。今後は、協力農地（特に事業効果の高い「駅そば」の農地）を増やすことが難しくなると想定されるが、事あるごとに粘り強く呼びかけていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	9	事業名	防犯対策の推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	警察署	
趣 旨		啓発キャンペーンや犯罪発生状況に応じた啓発活動等を通じて、区内における防犯意識を高め、地域における生活安全活動の盛り上げを図ることで犯罪の抑止につなげる。			
事業予定		1 啓発キャンペーンの実施 <u>感染対策</u> （1）広報活動・啓発キャンペーンの実施 生活安全市民運動期間（年4回）を中心に、警察署と連携して効果的な啓発キャンペーンを実施する。 （2）高校生と協働した啓発活動 高校生による区内商業施設でのキャンペーンの実施、犯罪別啓発用音声作成により、地域の防犯意識の向上につなげる。 （3）自転車ツーロック啓発動画を使用した啓発 自転車盗難多発地域において啓発動画を配布し、盗難の抑制につなげる。 2 犯罪状況に応じた啓発活動の実施 （1）犯罪予測AI※の活用 犯罪予測AI アプリを活用したパトロールと実態調査を行う。 （2）犯罪注意マップの作成 警察署と連携し、住宅対象侵入盗、自動車関連窃盗の発生状況を各地域の地図に記載した「犯罪注意マップ」を年4回作成し、各学区に配布するほか、区公式ウェブサイト公開する。			
計画目標		区内3高校等との協働による啓発キャンペーンの実施 3回			

※犯罪予測AI

名古屋市が犯罪抑止の取り組み支援のため活用しているAI（人工知能）による犯罪予測を用いた防犯パトロール支援アプリのこと。

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	区内3高校等との協働による啓発キャンペーンの実施 3回
実施内容	1 啓発キャンペーンの実施 <u>感染対策</u> （1）広報活動・啓発キャンペーンの実施 警察署と連携してキャンペーンとパトロールを計17回実施した。 （2）高校生と協働した啓発活動 区内3校の高校生と協働し商業施設でのキャンペーンを3回実施。また、3校の高校生による犯罪別啓発用音声を作成し、パトロールに活用した。 （3）自転車ツーロック啓発動画を使用した啓発 区内小中特別支援学校36校へ啓発動画を配布した。 2 犯罪状況に応じた啓発活動の実施 （1）犯罪予測AIの活用 毎週水曜日に犯罪予測AI アプリを活用したパトロールを実施した。 （2）犯罪注意マップの作成 【新規】 警察署と連携し、学区単位の「犯罪注意マップ」を年4回作成し、各学区に配布するとともに、区公式ウェブサイトにおいて公開した。
実績	区内3高校等との協働による啓発キャンペーンの実施 3回
総括	高校生との協働は啓発活動を行う高校生自身の防犯意識向上にも取り組むことができた。また、啓発活動を行う場所や集まる人の年齢層に応じた啓発を行った。さらに傾向を分析し、啓発する対象や罪種を絞って啓発する必要もある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	10	事業名	地域における自転車パトロールの推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	警察署	
趣 旨		自転車による自主的及び日常的な防犯パトロール活動の推進を通じて、区内における防犯意識を高め、地域における生活安全活動の盛り上げを図ることで犯罪の抑止につなげる。			
事業予定		1 自転車パトロール隊の結成 <u>感染対策</u> 住宅対象侵入盗などの主要犯罪が多発している学区を対象に、自転車パトロール隊を結成し、自主的及び日常的な防犯パトロールを推進する。 2 結成学区における警察署による講話の開催 結成学区において住宅対象侵入盗件数が前年総件数より増加した場合には、自転車パトロール隊を対象とした講話を警察署と連携して行う。 3 自転車パトロール隊への活動支援 【新規】 これまでに結成した自転車パトロール隊に対して、警察署と連携して住宅対象侵入盗などの主要犯罪の発生状況や手口などを、資料やチラシ、さらには「犯罪注意マップ」などによって情報提供を行うとともに、防犯パトロールなどの活動を支援する。			
計画目標		・ 自転車パトロール隊新規隊員数 50 名 ・ 結成学区における住宅対象侵入盗年間件数 前年比減少			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	・ 自転車パトロール隊新規隊員数 50 名 ・ 結成学区における住宅対象侵入盗年間件数 前年比減少
実施内容	1 自転車パトロール隊の結成 <u>感染対策</u> 住宅対象侵入盗の被害が増加している長須賀学区において、自転車パトロール隊を結成し、地域による自主的及び日常的な防犯パトロールを推進した。また、自転車パトロール隊の結成に合わせ、隊員から補助錠を地域住民へ配布し、住宅対象侵入盗の被害抑止を図った。 2 結成学区における警察署による講話の開催 長須賀学区において自転車パトロール隊を対象とした講話を警察署と連携して行った。
実績	・ 自転車パトロール隊新規隊員数 30 名 ・ 結成学区における住宅対象侵入盗年間件数 前年比減少 (過去2年間に結成した2学区の住宅対象侵入盗年間件数 4件→0件)
総括	住宅対象侵入盗が多発している学区で結成した自転車パトロール隊の出発式を実施する際に、スポーツ市民局の啓発事業も併せて実施し、地域での防犯パトロールを後押しすることができた。これまで自転車パトロール隊を結成した学区に対して、自転車パトロール隊を活かした防犯活動に対して継続的に支援する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	11	事業名	地域が行う防犯活動に対する重点的支援	区分	新規
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	警察署	
趣 旨		地域が行う防犯活動において、効果的な啓発やパトロールなどを行えるよう、区役所や関係機関が支援することにより、活動の活性化を図り、さらなる地域の防犯意識向上を目指す。			
事業予定		1 重点学区に対する防犯活動支援 前年度の刑法犯発生件数が多い6学区を重点学区として、「犯罪注意マップ」を活用し、それぞれの傾向に応じた罪種に対する啓発品の配布やチラシの作成により、効果的な啓発が行えるよう支援する。 2 重点学区における防犯活動の活性化 重点学区において実施している防犯パトロールを始めとした防犯活動に対して、活動資材の配布や活動の広報などによって、防犯意識の高い地域であることを学区内外へPRするとともに、活動の活性化を支援する。 3 関係機関と連携した防犯活動の支援 重点学区における防犯活動に関して、警察署、防犯協会連合会を始めとした関係機関・団体と学区が連携して防犯活動が行えるよう、情報共有や協力調整などの支援をする。			
計画目標		重点学区における刑法犯発生件数 前年比減少			

1. 令和5年度事業内容等

No.	12	事業名	交通安全対策の推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	警察署	
趣 旨		啓発キャンペーンや交通安全教室の実施、交通事故発生状況に応じた啓発活動等を通じて、区内における交通安全意識を高め、交通事故の抑止につなげる。			
事業予定		1 啓発キャンペーン等の実施 <u>感染対策</u> （1）啓発キャンペーン等の実施 交通安全市民運動期間（年 4 回）を中心に、交通事故抑止キャンペーンを地域・警察署と連携し実施する。 （2）園児及び小学生対象の交通安全教室や高齢者向け交通安全講話の実施 これまでの交通安全教室の内容に加えて、運送業者等と協働し「トラック」に対する交通安全対策についても学ぶことで、交通事故抑止につなげる。また、様々な広報とメディアの活用により、多くの人への啓発を行う。 （3）中川区マスコットキャラクター「ナッピー」を活用したイラスト付きの反射材の配布 家庭内から交通安全意識の向上を図るため、小学校入学児童に配布する。 2 交通事故発生状況に応じた啓発活動の実施 <u>感染対策</u> 交通事故件数が多い学区を「交通安全強化学区」として選定し、学区住民や警察署と連携した啓発活動を実施する。			
計画目標		- 交通安全教室の実施 区内全学区（53 回以上） - 交通安全強化学区における啓発活動の実施 2 回			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	- 交通安全教室の実施 区内全学区（51 回以上） - 交通安全強化学区における啓発活動の実施 2 回
実施内容	1 啓発キャンペーン等の実施 <u>感染対策</u> （1）啓発キャンペーン等の実施 交通事故抑止キャンペーンを地域・警察署と連携し 45 回実施した。 （2）保育園児及び小学生を対象とした交通安全教室や高齢者向け交通安全講話の実施 交通ルール動画を制作し、7 回の交通安全教室で活用した。ふれあい給食会等で警察署を招き高齢者向け交通安全講話を実施した。 広報なごやを活用した啓発を行った。 （3）中川区マスコットキャラクター「ナッピー」を活用したイラスト付きの反射材の配布 子どもたちの交通安全意識向上を図るため、小学校入学児童に配布した。 2 交通事故発生状況に応じた啓発活動の実施 <u>感染対策</u> 「交通安全強化学区」として昭和橋学区を選定し、学区住民や警察署と連携した啓発活動を 9 月と 12 月に実施した。
実績	- 交通安全教室の実施 区内全学区（53 回） - 交通安全強化学区における啓発活動の実施 2 回
総括	実際の事故現場での啓発活動の実施によって、地域の交通安全意識の高揚を図ったことにより、地域での継続的かつ自主的な啓発活動につなげることができた。より多くの人へ啓発するためにも、新聞等のメディアの目に留まるような啓発活動の企画とメディアを活用してより多くの人に向けて広報を行う必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	13	事業名	地域の力で子どもを守る交通安全見守り事業	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	警察署		
趣 旨	子ども自身が交通安全宣言を行うことで交通安全意識を高めるとともに、地域住民による見守り活動を推進することで子どもの交通事故の抑止につなげる。				
事業予定	1 小学生による交通安全宣言の実施 <u>感染対策</u> 6 学区において、小学校の代表児童による交通安全宣言を行うとともに、「交通安全見守り出発式」を実施し、児童を見守るため地域住民へ交通安全横断旗を配布する。開催にあたっては、交通安全教室と同日開催することにより、より効果的に児童の交通安全意識の向上を図る。 2 地域住民による見守り活動の推進 学区役員や PTA など地域住民による日常的な小学校の登下校時の見守り活動を推進するため、中川区マスコットキャラクター「ナッピー」を活用した交通安全横断旗を配布する。また、地域住民による見守り活動について広報することにより、児童や保護者にも理解を深めてもらい活動の輪が広がるよう推進する。				
計画目標	地域住民による見守り活動の実施 6 学区				

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	地域住民による見守り活動の実施 6 学区
実施内容	1 小学生による交通安全宣言の実施 <u>感染対策</u> 八熊学区、常磐学区、篠原学区、正色学区、万場学区及び明正学区の6 学区において、交通安全教室と「交通安全見守り出発式」の同日開催し、小学校の代表児童による交通安全宣言を行うとともに、交通安全旗を見守り活動を行う地域住民へ児童から贈呈することで、見守る側と見守られる側、双方の交通安全意識の高揚を図った。 2 地域住民による見守り活動の実施 出発式等で配布した交通安全横断旗を活用した日常的な見守り活動を、地域住民によって小学校の登下校時に行っていた。
実績	地域住民による見守り活動の実施 6 学区
総括	「交通安全見守り出発式」は子どもたちの交通安全の意識向上のみならず、地域・学校と連携することで見守る側の意識向上につながった。今後、この地域や学校・PTA による見守り活動に対する継続的な支援と、地域の活動を将来へ持続させるために、子どもたちへ伝えていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	14	事業名	自転車乗車時のヘルメット着用推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	警察署	
趣 旨		「自転車ヘルメット広め隊」による啓発活動を通じて、自転車乗車時のヘルメット着用に対する意識を高め、自転車の交通死亡事故の抑止につなげる。			
事業予定		1 「自転車ヘルメット広め隊」の委嘱 <u>感染対策</u> 交通安全強化学区指定学区において「自転車ヘルメット広め隊」委嘱及び警察署による交通安全講話を実施し、自転車運転の正しい知識やヘルメット着用について周囲の方々へ日常的に呼びかけてもらう。 2 「自転車ヘルメット広め隊」による啓発キャンペーンの実施 <u>感染対策</u> 警察署と連携して、ヘルメット着用を促進する啓発キャンペーンを、区内の集客施設や自転車利用者が多い交差点、駅付近や、イベント開催の機会などに合わせて実施する。 3 交通安全教室におけるヘルメットの着用啓発 <u>感染対策</u> 保育園児及び小学生を対象とした交通安全教室において、交通指導員からヘルメットの重要性を伝え、着用に対する区民の意識転換を図る。また、学校と連携して中高生への啓発を実施する。			
計画目標		・ 自転車ヘルメット広め隊隊員 180 名（累計） ・ 交通安全教室開催でのヘルメット着用啓発 区内全学区			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・ 自転車ヘルメット広め隊隊員 140 名（累計） ・ 交通安全教室開催でのヘルメット着用啓発 区内全学区
実施内容	1 「自転車ヘルメット広め隊」の委嘱 <u>感染対策</u> 9 月に交通安全強化学区に指定した昭和橋学区で隊員の委嘱及び警察署による交通安全講話を実施し、隊員には自転車運転の正しい知識やヘルメット着用について周囲の方々へ日常的に呼びかけてもらった。 2 「自転車ヘルメット広め隊」による啓発キャンペーンの実施 <u>感染対策</u> 12 月に実施するウォーキングイベントにおいて、警察署と連携して、隊員がヘルメット着用を促進する啓発を実施した。 3 交通安全教室におけるヘルメットの着用啓発 <u>感染対策</u> 保育園児及び小学生を対象とした交通安全教室において、交通指導員からヘルメットの重要性を伝え、着用に対する区民の意識転換を図った。また、区民まつり会場においてもチラシとテキストを用いたヘルメット着用啓発を行った。
実績	・ 自転車ヘルメット広め隊隊員 166 名（累計） ・ 交通安全教室開催でのヘルメット着用啓発 区内全学区
総括	「自転車ヘルメット広め隊」の活動は、隊員自身のヘルメット着用と、着用促進を地域の中から発信してもらうことで、高齢者を中心にヘルメット着用促進を徐々に進めることができている。一方で中高生を始め若者のヘルメット着用についても取り組む必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	15	事業名	クリーンキャンペーンの実施	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	環境局、環境事業所、土木事務所	
趣 旨		地域住民・ボランティア・事業所との協働のもと「町を美しくする運動」として道路や公園などの清掃活動を実施することで、快適で住みやすい地域づくりにつなげる。			
事業予定		・クリーンキャンペーンの実施 <u>感染対策</u> 全市一斉クリーンキャンペーン（6月3日）にあわせ、学区・ボランティア・事業所・区役所が協議して、地域でゴミが目立つ道路や公園などを選び大規模な清掃活動を実施する。			
計画目標		クリーンキャンペーンの実施 区内全学区			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・クリーンキャンペーンの実施 区内全学区 ・プロギングツアーの開催（中川区内）
実施内容	1 クリーンキャンペーンの実施 <u>感染対策</u> 全市一斉クリーンキャンペーンの6月4日に、五反田学区を中央会場として、学区・ボランティア・事業所・区役所が協働して清掃活動を実施した。 また、6月4日を中心に全学区においても清掃活動を実施した。 2 プロギング※ツアーの開催（中川区内） <u>感染対策</u> 【新規】 新たな清掃活動の一環として区の魅力の発見・発掘も兼ねたプロギングを、荒子川沿いの地域で開催した。
実績	・クリーンキャンペーンの実施 区内全学区 ・プロギングツアーの開催（中川区内）
総括	地域でクリーンキャンペーンを実施することが定着しており、実施方法は様々だがすべての学区で行われている。今後は、特に中央会場においては複数の学区を対象とした実施や、イベントの要素を盛り込むなど、より多くの人が参加する行事とする必要がある。

※プロギング

ごみ拾い(PlockaUpp)とジョギング(Jogging)を合わせたスウェーデン発のスポーツ。

1. 令和5年度事業内容等

No.	16	事業名	空地・空家等の適切な管理の推進		区分	継続
担当課	地域力推進室		関係部署（所）	中村保健センター、土木事務所、環境事業所、消防署		
趣 旨	管理の不適切な空地・空家及び堆積物により不良な状態にある住居の所有者等に適切な管理を依頼することで、快適で住みやすい地域づくりにつなげる。					
事業予定	1 空地の適切な管理 空地の雑草等に関する申し出には迅速に実態調査・対応を実施し、年2回、解決していない案件について現地確認を実施し、必要に応じて雑草処理勧告書を送付するなど再度適切な管理を依頼する。 2 空家等の適切な管理 <u>感染対策</u> 区空家等対策会議開催により関係部署で情報共有し、管理の不適切な空家等の所有者等に適切な管理を依頼する。4か月ごとに解決していない案件の現地確認を実施し、必要に応じて再度適切な管理について依頼する。 3 堆積物により不良な状態にある住居の適切な管理 <u>感染対策</u> 関係部署で情報を共有するとともに、堆積物により不良な状態にある住居の所有者等に適切な管理を依頼し、堆積者への援護が必要な場合には経済的支援制度の活用及び福祉部門などと連携して事態の根本的な解決を図る。					
計画目標	・区空家等対策会議の開催 4回 ・空地及び空家等解消率 35%以上					

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・区空家等対策会議の開催 4回 ・空地及び空家等解消率 35%以上
実施内容	1 空地の適切な管理 <u>感染対策</u> 空地の雑草等に関する申し出に対して迅速に実態調査・対応を実施した。また、年2回、解決していない案件について現地確認を実施し、必要に応じて雑草処理勧告書を送付するなど再度適切な管理を依頼した。 2 空家等の適切な管理 <u>感染対策</u> 区空家等対策会議開催により関係部署で情報共有し、管理の不適切な空家等の所有者等に適切な管理を依頼する。4か月ごとに解決していない案件の現地確認を実施し、必要に応じて再度適切な管理について依頼した。 3 堆積物により不良な状態にある住居の適切な管理 <u>感染対策</u> 住居の不良堆積物にかかる区対策会議を開催し、関係部署で情報を共有するとともに、堆積者への援護が必要な場合には関係機関が連携して事態の根本的な解決を図ることの再確認を図った。
実績	・区空家等対策会議の開催 4回 ・空地及び空家等解消率 30.5%
総括	空家・空地の適切な管理について、多くの案件に対し粘り強く依頼を続け問題の解消につなげることができたものも多い。今後、堆積物により不良な状態にある住居も含め、解消につなげていくためには、各対策会議を通じて関係機関の連携を強化する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	17	事業名	ペットと暮らす快適なまちづくり運動の推進	区分	継続
担当課		保健センター健康安全課	関係部署（所）	—	
趣 旨		犬猫の飼主等を対象に、飼い方などに関する個別の指導を行うとともに、ペットの災害対策の視点から日頃のしつけの重要性についても啓発していく。 また、看板など啓発資材の作成・配布、巡回パトロールなどの様々な啓発活動を実施して、犬猫とともに暮らす快適なまちをめざす。			
事業予定		1 犬猫の飼主等への指導・助言 感染対策 区民からの苦情等の情報に基づいて、飼主等への指導・助言を実施する。さらに、名古屋市動物愛護推進員と協働し、防災訓練等の機会を通じて、ペットの災害対策の一環として日頃のしつけの重要性を啓発する。防災訓練に参加しなかった人に対しても、区公式ウェブサイトなどを活用しながら情報発信を行う。 2 イベント・巡回パトロール等の啓発活動 感染対策 区民まつりなどイベントの機会や巡回パトロールを行い、区民に対して啓発グッズや資料を配布するなどして、犬のフンの持ち帰りや飼猫の室内飼育の推奨を重点に、啓発を実施する。 3 用具等の貸出、補助券の交付等 区民からの相談に応じて、猫忌避装置の貸出や避妊・去勢手術補助券の交付、マイクロチップ装着の補助券の交付、のら猫対策活動の支援等を実施する。			
計画目標		イベント、巡回パトロール等の啓発活動の実施 15 回			

2. 令和4年度の実施結果

（評価☆☆☆）

計画目標	キャンペーン、巡回パトロール等の啓発活動の実施 15 回
実施内容	1 犬猫の飼主等への指導・助言 個別の苦情・相談への対応として飼主等へ指導・助言を実施した。ペットの災害対策の一環である日頃のしつけの重要性の啓発は、水防訓練、防災訓練、区民まつりで名古屋市動物愛護推進員と協働で実施した。また、区公式ウェブサイトでも水防訓練、防災訓練に関する情報を発信した。 2 キャンペーン・巡回パトロール等の啓発活動 区内で苦情・相談があった地域の付近の巡回パトロールを実施した。また、犬のフンの持ち帰りや猫に対する無責任な餌やり防止等に関するチラシの回覧、看板など啓発資材の作成・配布等を実施した。 3 用具等の貸出、補助券の交付等 猫忌避装置の貸出や犬猫用名札の配布、避妊・去勢・マイクロチップ装着の補助券の交付、のら猫対策活動の支援及び周知等を実施した。
実績	キャンペーン、巡回パトロール等の啓発活動の実施 13 回
総括	新型コロナウイルス感染対策を実施しながら、イベント等で広く区民に対して啓発を実施した。特に3年ぶりに開催された区民まつりでは、広く区民に啓発を実施した。

1. 令和5年度事業内容等

No.	18	事業名	子育て支援に関する情報発信	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	—		
趣 旨	紙及び電子媒体による乳幼児向けのイベントなど最新の子育て支援情報を入手しやすい環境を整えることで、在宅の子育て家庭等の孤立化を防ぐ。				
事業予定	1 区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」の運用 子育て家庭が気軽に必要な情報を得ることができるよう、子育て支援情報サイトを運用し、子育て関係施設の紹介や各種子育て情報を発信する。区内の子育て関係機関のサイトや SNS と連携しやすくするなど、より充実したサイト運営を実施する。 2 紙面での子育て支援情報の提供 子育てサイトを利用しにくい家庭にも情報提供できるよう、年 2 回の「なかがわっ子サポートマップ」及び毎月の「キッズカレンダー」を作成する。 3 区役所内のキッズコーナーを活用した情報提供 区役所内キッズコーナー「すまいる」にて、地域子育て支援拠点や子育てサロン等のチラシを配架する。 4 保育案内人の出張相談 感染対策 子育てサロンや地域子育て支援拠点等に保育案内人を派遣し、保育所等への利用を希望する保護者等の相談に対応する。				
計画目標	区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」閲覧数 80,000 回				

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」閲覧数 80,000 回
実施内容	1 区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」の改修 子育て家庭の実情を踏まえ、新たな内容の掲載を開始し、令和5年1月よりスマホ最適化などの改修をするなど、子育て支援情報サイトでの情報提供の充実に努めた。 2 紙面での子育て支援情報の提供 子育てサイトを利用しにくい家庭にも情報提供できるよう、年 2 回の「なかがわっ子サポートマップ」及び毎月の「キッズカレンダー」を作成し、配布した。 3 区役所内のキッズコーナーを活用した情報提供 区役所内キッズコーナー「すまいる」にて、地域子育て支援拠点や子育てサロン等のチラシを配架した。 4 保育案内人の出張相談 子育てサロンや地域子育て支援拠点等に保育案内人を派遣し、保育所等への利用を希望する保護者等の相談に対応した。(16 か所 101 名対応)
実績	区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」閲覧数 72,332 回
総括	子育て支援情報サイトの掲載情報の充実により、閲覧数は令和3年度に比べ増えており(令和3年度比 16.6%増 1 月末時点)、提供した子育て支援情報がより子育て家庭に届きやすい環境を整えることができた。子育て家庭が欲しい情報をより得やすくなるような情報提供の工夫として、今後は各子育て関係機関のサイトや SNS との連携を充実する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	19	事業名	妊産婦及び新生児・乳児への育児支援	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課 関係部署(所) —				
趣 旨	面接や家庭訪問をとおして育児や家庭に関する相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。				
事業予定	1 妊婦面接の実施 <u>感染対策</u> 保健師・助産師などが、妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方に面接を実施し、安心して出産・子育てできるよう、妊娠中から支援する。 2 新生児・乳児訪問の実施 <u>感染対策</u> 出生報告を提出された新生児・乳児と産婦とその家族が、育児不安を軽減し安心して育児に取り組めるよう、3(4)か月児健診までの乳児早期に、保健師・助産師が家庭訪問で相談対応、支援する。				
計画目標	・妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% ・出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 98%				

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	1 妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% 2 出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 98%
実施内容	1 妊婦面接 安心して出産・子育てできるよう、妊娠中から支援するために、保健師・助産師などが、妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方に面接を実施した。 2 新生児・乳児訪問 産婦やその家族が育児不安の軽減をはかり安心して育児に取り組めるよう、出生報告を提出された家庭に、保健師・助産師が3(4)か月児健診までの間に家庭訪問を実施した。
実績	1 妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% 2 出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 97.6%
総括	妊婦面接は100%できており、妊娠期からの支援は継続できている。 新生児・乳児訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響で、長期里帰りする方や訪問拒否をされる方もみられた。令和5年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した訪問の実施と関係機関との連携のもと、支援方法の検討をしつつ実施していく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	20	事業名	中川区シェアブックス事業		区分	継続
担当課	民生子ども課		関係部署（所）	中川図書館、富田図書館、保健センター保健予防課、中川児童館		
趣 旨	子育てサロンでの絵本の活用や、読み聞かせの実施、乳幼児健診時の紹介などを通して、赤ちゃんともわりの人が絵本を介して心を通わせるきっかけとなる体験を提供する。					
事業予定	1 子育てサロンなどでの絵本に触れる機会の提供 感染対策 子育てサロン開催場所に設置した絵本を活用し、子育てサロン開催時などに絵本に親しむ機会を提供する。 2 読み聞かせボランティアの派遣の充実 感染対策 子育てサロン等の子育て支援機関や各種イベントに読み聞かせボランティアを派遣し、絵本の読み聞かせを通した心温まる体験を提供する。読み聞かせの提供が充実するよう、関係機関への周知等に努める。 3 3（4）か月児健診時の広報・啓発 感染対策 3（4）か月児健診に来所した子育て世帯に対し、事業の趣旨を広報・啓発し、絵本を手にとってもらう機会を提供するとともに、可能な限り希望者への読み聞かせを実施する。					
計画目標	・読み聞かせボランティアの活動件数 40 件 ・3（4）か月児健診時に絵本を手にとってもらう機会の提供 12 回					

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	読み聞かせボランティアの活動件数 36 件
実施内容	1 子育てサロン等での絵本に触れる機会の提供 子育てサロンの開催場所や区役所、児童館等に 0 歳児向けの絵本を設置し、子育てサロン開催時などに絵本に親しむ機会を提供した。 2 読み聞かせボランティアの派遣 子育てサロン等の子育て支援機関や各種イベントに読み聞かせボランティアを派遣し、絵本の読み聞かせを通した心温まる体験を提供した。 3 3（4）か月児健診時の広報・啓発 3（4）か月児健診に来所した子育て世帯に対し、事業の趣旨を広報・啓発し、絵本を手にとってもらう機会を提供した。
実績	読み聞かせボランティアの活動件数 25 件
総括	子育てサロンなどに絵本を設置し、子育てサロン開催時に絵本に親しむ機会を提供するとともに、子育て支援イベントを中心に読み聞かせボランティアを派遣することができ、子育て家庭が絵本に親しむ様々な機会を提供できた。多くの子育て家庭に絵本に親しむ機会を提供する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	21	事業名	子育て支援講座の開催	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	中川児童館	
趣 旨		子育て支援講座を開催し、親自身が子どもとのかかわり方などについて学ぶことにより、子育てに関する不安を軽減させるとともに、支援が必要な家庭を把握し、地域の子育て支援につなげていく。			
事業予定		1 スターペアレンティング講座の開催 感染対策 子ども・子育て支援センター共催講座として、親自身も大切にしながら、叩かず、甘やかさず、楽しみながら子育てするための方法を学ぶワークショップ中心の連続講座を中川児童館が中心となって開催する。 2 「フレッシュママの子育て入門」の開催 感染対策 生後4～7か月のお子様を対象に、0歳児の特性や生活リズムを学びベビーマッサージやリトミック等親子のふれあいを行う講座を開催する。 3 幅広い年齢の子を対象とした子育て家庭向け支援講座の開催 感染対策 区内の子育て支援関係団体で構成する「中川子育て支援ネットワーク」と連携するなど工夫しながら、幼児期や小・中学生程度の子がいる子育て家庭に向けた内容の講座を開催する。			
計画目標		子育て支援講座の開催 10回以上			

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	子育て支援講座の開催 10回以上
実施内容	1 スターペアレンティング講座の開催 子ども・子育て支援センター共催講座として、親自身も大切にしながら、叩かず、甘やかさず、楽しみながら子育てするための方法を学ぶワークショップ中心の連続講座を中川児童館が中心となって3回開催。 2 「フレッシュママの子育て入門」の開催 生後4～7か月のお子様を対象に、0歳児の特性や生活リズムを学びベビーマッサージやリトミック等親子のふれあいを行う講座をオンラインと対面で5回開催。 3 イライラしない子育て講座の開催 子育てのちょっとしたコツを講座やロールプレイ等で学ぶイライラしない子育て講座を2回開催。 ※いずれの講座も、開催の際は事前予約にて実施。
実績	子育て支援講座の開催 10回
総括	オンラインも活用しながら、講座の開催ができた。また、イライラしない子育て講座は、乳児のみならず幼児や学齢期の子がいる子育て家庭に参加いただくことができた。 ただ、オンラインの講座は1回の参加者が少なかったことから、感染対策も徹底し、可能な限り対面での講座実施に努める必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	22	事業名	発達に遅れのある子どもの親を対象とした支援	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署（所）	—		
趣 旨	発達に遅れのある子どもの親が、教室やグループ活動をとおして、正しい知識を持ち、情報交換をしながら共通の悩みや育児不安を解消できるようにする。				
事業予定	パンダグループの実施 <u>感染対策</u> [対象]発達に遅れのある子どもの親 [内容]先輩ママの協力を得ながら、交流会、勉強会を継続する中で、リーダーママの継承も試みる。また、講演会をパンダグループ参加者や、その他の子どもの発達に悩みを抱える親支援の場として開催する。				
計画目標	パンダグループの開催（講演会を含む） 8回				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	パンダグループの開催（講演会を含む） 7回
実施内容	発達に遅れのある子どもの親を対象に、先輩ママの支援を得ながら交流会を実施した。またパンダグループ参加者以外にも広報し、講演会を実施した。
実績	パンダグループの開催（講演会を含む） 8回
総括	過去2年間、感染症拡大の影響で、継続的な開催ができなかったことから、グループリーダーママの継承が困難になっている。そこで令和4年度は、先輩ママの協力と参加を積極的に行い、当事者ニーズに沿った交流会の内容等へ工夫をしながら実施した。参加者の満足度も高く、今後も参加者の悩みや声を聴きながら、運営方法の検討をしつつ継続していく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	23	事業名	子育て家庭向け交流イベントの開催	区分	拡充
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	—	
趣 旨		子育て家庭同士の交流を深めたり、子育てサロンや地域子育て支援拠点といった子育て関係機関の支援につなげることを目的として、子育て家庭向け交流イベントを開催し、地域での子育て家庭の孤立化を防ぐ。			
事業予定		1 子育て家庭の交流の場としてのイベント開催 <u>感染対策</u> 区内の子育て関係機関や活動団体で構成する「中川子育てネットワーク連絡会」で主催し、大規模に子育て家庭を集めるイベントや屋外での地域密着型イベント等様々な方法で開催し、子育て家庭の交流の場の提供、日常の子育て支援へつなげていくことを目指す。 2 子育てスタンプラリーの開催【新規】 <u>感染対策</u> 区内の子育てサロンや地域子育て支援拠点等、日常の子育て支援への参加を促すために、スタンプラリーを実施し、子育て家庭が新たに子育て支援機関とつながりを作るきっかけとする。			
計画目標		子育てスタンプラリーの参加者 500 組			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	子育て家庭向け交流イベントの開催 3 回
実施内容	1 屋外でのイベント実施 5 月に高畑公園にて子育て家庭向け交流イベントを実施。 公園で実施したことで感染対策に加え、イベントを知らずに公園に訪れた子育て家庭が飛び入りで参加するなどの効果があった。 2 広い室内での大規模イベントの実施 10 月に富田北プール体育室、12 月に区役所講堂において子育て家庭向け交流イベントを実施。それぞれ 62 組、75 組が参加するイベントとして多くの子育て家庭の参加があった。 いずれも区内の子育て関係機関で構成する「中川子育てネットワーク連絡会」で主催し、内容の充実を図った。
実績	子育て家庭向け交流イベントの開催 3 回
総括	屋外イベントでは公園開催ならではの新たな効果があった。季節や雨天対策等を考慮しながら、今後も実施していきたい。 屋内でのイベントでは、想定を超える参加や、定員がすぐ埋まってしまうなど、子育て家庭に向けた交流イベントへのニーズが高いことが改めてわかった。中川子育てネットワークがますます連携を深め、広く周知することで支援の場につながるきっかけを作る必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	24	事業名	地域における子育て支援の人材育成と活動促進	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	—	
趣 旨		子育て支援の担い手となるボランティア「なかがわっ子サポーター」を養成し、子育てサロンや子育て家庭の交流イベント等の活動の場を提供することで、地域での継続的な子育て支援活動を促進する。			
事業予定		1 なかがわっ子サポーター養成講座の開催 感染対策 子育て支援の担い手としてのなかがわっ子サポーターに必要なことを学ぶ講座を開催し、区内の子育て支援の担い手を養成する。 2 なかがわっ子サポーターステップアップ講座の開催 感染対策 なかがわっ子サポーターとしてのスキルアップを目指し、より専門性の高い知識を身に付け、多様なニーズに対応できるための講座を開催する。 3 区内の高校との連携によるなかがわっ子高校生講座の開催 感染対策 区内の高校に通う生徒を対象に、高校生が区内の子育て支援に積極的に参加する機運を醸成するような講座を開催する。 4 なかがわっ子サポーターの活動支援 なかがわっ子サポーターの活動の場の提供など活動の支援を実施する。			
計画目標		なかがわっ子サポーター延べ活動件数 300 件			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 288 件
実施内容	1 なかがわっ子サポーターの活動の場の確保・活動支援 各機関の集まる会議等で活動内容や活動の仕方等積極的に周知を図った。 2 なかがわっ子サポーター養成講座の開催 子育て支援の担い手としてのなかがわっ子サポーターに必要なことを学ぶ講座をオンラインで開催し、託児実践を行うことで、サポーターの担い手を増やすことができた。 3 なかがわっ子サポーターステップアップ講座の開催 なかがわっ子サポーターとしてのスキルアップを目指し、より専門性の高い知識を身に付け、多様なニーズに対応できるための講座を開催した。 4 区内の高校との連携によるなかがわっ子高校生講座の開催 区内の高校に通う生徒を対象に、乳幼児を育てる子育て家庭の現状や支援の実態を学び、児童虐待防止推進月間の啓発物品のデザインを考える機会を提供し、高校生が区内の子育て支援に積極的に参加するきっかけを作った。
実績	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 238 件
総括	子育て支援の場やイベントの実施が再開される中、積極的な周知の結果、なかがわっ子サポーターの活動機会を増やすことができた。 また、なかがわっ子高校生講座をコロナ禍においても実施できる内容とすることで、区内の高校生が子育て支援に参加する機会を提供できた。今後も活動機会の充実に向けて積極的な周知や講座の充実を図る必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	25	事業名	地域の子育てサロンの運営支援	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	保健センター保健予防課 中島保育園（エリア支援保育所）		
趣 旨	保育士や保健師などの専門職、保育案内人を地域の子育てサロンに派遣し、日常の置き場所がない大型絵本や遊具の保管・貸し出しを行うことにより、地域の子育てサロンの活動内容の充実や運営の支援につなげ事業の活性化を図る。				
事業予定	1 専門職等の職員派遣 <u>感染対策</u> エリア支援保育所等の保育士や保健センターの保健師、保育案内人を子育てサロンに派遣し、各種講座の開催やより専門的な相談を受ける等の活動を実施する。 2 子育て支援物品の貸し出し サロン開催場所では置き場所に困るような大型絵本をはじめとする子育て支援物品を地域子育て支援センターなどに置き、子育てサロンへの貸し出しを実施する。				
計画目標	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 230 件				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 230 件
実施内容	1 専門職等の職員派遣 エリア支援保育所等の保育士(102 件)、 保健センターの保健師(42 件)、 保育案内人(10 件) といった専門的な職員を子育てサロンに派遣し、各種講座の開催やより専門的な相談を受ける等の活動を実施した。 2 子育て支援物品の貸し出し サロン開催場所では置き場所に困るような大型絵本などを別途保管し、子育てサロンへの貸し出しを8件実施した。
実績	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 162 件
総括	子育てサロンの開催が活発になるにあたり、専門職の職員派遣への要望の高まりに応じた派遣ができた。 子育て支援物品の貸出についても、令和3年度に比べ増加している。 今後も子育てサロンの運営支援の充実を図っていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	26	事業名	児童虐待防止の推進・啓発	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課 西部児童相談所		
趣 旨	児童虐待防止月間を中心として、区民への児童虐待防止ダイヤル「189」を広報することで、児童虐待の未然防止や早期発見につなげるとともに、関係機関との会議、システムを活用した情報共有を実施し、児童虐待への適切な対応を図る。				
事業予定	1 児童虐待防止の広報・啓発活動 感染対策 児童虐待防止や早期発見につなげるために、児童虐待防止ダイヤル「189」の広報・啓発を促進するために、関係機関と連携し、商業施設などでの幅広い広報啓発を実施する。 2 要保護児童対策地域協議会の開催 感染対策 「なごやこどもサポート中川区代表者会議」、「中川区実務者会議」、個別の「サポートチーム会議」の各会議を通し、要保護児童等の情報共有及び関係機関における連携支援の強化を図った。 3 児童虐待情報データベースシステムの活用 システムを活用し、関係機関同士がリアルタイムに状況を共有し、連携した支援の実施及び児童虐待の発生予防、早期発見対応等に結びつける。				
計画目標	より広い区民への児童虐待防止ダイヤル「189」の広報啓発の促進				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	児童虐待防止ダイヤル「189」の広報啓発の促進
実施内容	1 児童虐待防止の広報・啓発活動 条例に基づき定められた5月と11月の児童虐待防止推進月間を中心として児童虐待防止ダイヤル「189」の広報・啓発活動を実施した。 令和4年度は市立工業高校の生徒に啓発物品のデザインを作成してもらい、一緒に広報・啓発活動を行う等、新たな観点で広報・啓発に努めた。 また、「イライラしない子育て講座」を開催し、子育て家庭の支援となる講座を実施した。（再掲） 2 要保護児童対策地域協議会の開催 「なごやこどもサポート中川区代表者会議」（年1回）、「中川区実務者会議」（年12回）、個別の「サポートチーム会議」（本区年3回、支所年6回）の各会議を開催し、要保護児童等の情報共有及び関係機関における連携支援の強化を図った。 3 児童虐待情報データベースシステムの活用 システムを活用し、関係機関同士がリアルタイムに状況を共有し、連携した支援の実施及び児童虐待の発生予防、早期発見対応等に結びつけた。
実績	児童虐待防止ダイヤル「189」の広報啓発を促進した。
総括	新たに市立工業高校の生徒と連携しての広報・啓発や新たな商業施設での啓発活動を実施するなど広報・啓発に努めた。 今後も児童虐待の未然防止や早期発見につなげるべく、関係機関との連携を深め商業施設などでの啓発活動を引き続き行う必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	27	事業名	子ども連れの来庁者が安心して過ごせるスペースの運営	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	—		
趣 旨	子どもが遊べるコーナーや子育て情報コーナーを備え、子ども連れの来庁者が安心して過ごせるよう、キッズスペースを設置、運営する。				
事業予定	・ なかがわっ子サポーターによる来庁者向け活動の促進 感染対策 子育て家庭の来庁が多く見込まれる時期を中心に、子育て家庭が安心して手続きを行えるよう、キッズコーナー「すまいる」等においてなかがわっ子サポーターによる託児等の活動機会を広げ、子育て家庭が安心して手続きできるような環境をつくる。				
計画目標	来庁者が安心して過ごせるためのなかがわっ子サポーターの活動件数 50 件				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	来庁者が安心して過ごせるためのなかがわっ子サポーターの活動件数 50 件
実施内容	・ なかがわっ子サポーターによる来庁者向け活動の促進 子育て家庭の来庁が多く見込まれる保育園入所面接の時期に、子育て家庭が安心して手続きを行えるよう、キッズコーナー「すまいる」などにおいてなかがわっ子サポーターによる託児を実施した。
実績	来庁者が安心して過ごせるためのなかがわっ子サポーターの活動件数 37 件
総括	窓口が混雑する保育園入所面接受付の際などになかがわっ子サポーターが託児する活動を実施し、利用者である保護者が子どもを預けて入所面接に対応できる環境を整えることができた。 今後もこのような環境を提供していく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	28	事業名	青少年育成区民大会・青少年音楽のつどいの開催	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		青少年育成区民大会は、青少年が各校の取り組みについて趣向を凝らして発表し情報交換することで健全育成・非行防止を促進する。青少年音楽のつどいは、青少年が自分たちで協力し合いながら発表会を運営し、チラシデザインの製作などを行うことで自主性を育成するとともに、学校の垣根を超えた連帯感を醸成し、青少年育成を促進する。			
事業予定		・ 青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 感染対策 [実施時期] 令和6年1月 [場 所] 中村文化小劇場 新型コロナウイルス感染状況に応じて開催できるよう、規模・運営方法・対応策について引き続きフレンドシップ協定締結校を中心に協議のうえ実施する。 なお、中川文化小劇場は工事により使用できないため、中村文化小劇場で開催する。			
計画目標		青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 1回			

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 1回
実施内容	・ 青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 感染対策 [実施時期] 令和5年1月 [場 所] 中川文化小劇場 [内 容] ・フレンドシップ協定締結校生による青少年による問題に対する取り組みの発表を通じた情報交換 ・フレンドシップ協定締結校生による音楽活動の発表と運営 ・区内中学生による音楽活動の発表（動画出演） ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底
実績	青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 1回
総括	フレンドシップ協定締結校を中心に協議を重ね、新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえで区内の青少年が自分たちで協力し合いながら運営するかたちで発表会を開催し、自主性を育成することができた。また、新型コロナウイルス感染対策により例年よりも発表会当日に青少年が参加できる場を用意できなかったため、後日区公式ウェブサイトにて動画配信を行い区内の青少年へ情報発信を行った。学校の垣根を超えた連帯感を醸成するためには青少年が発表や運営に参加し交流することが重要であるため、新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえでより多くの青少年が参加できるようフレンドシップ協定校を中心に今後も実施方法を検討する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	29	事業名	子ども会活動への支援	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	—		
趣 旨	子どもたちが、地域の中で異年齢間での交流などさまざまな体験を通じて、主体性や社会性を身につけられるよう、子ども会活動を支援し、子ども会活動の活性化を図るため、区子ども会連合会の活動を支援する。				
事業予定	1 子ども会に対して、会員数に応じた運営助成金を交付する。 2 区子ども会連合会主催のキャンプや各種行事に対する運営及び情報発信を支援する。 3 魅力的な子ども会活動の実施に向け支援する。				
計画目標	子ども会の情報発信及び魅力ある活動に向けた支援				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	子ども会活動の情報発信及び魅力ある活動に向けた支援
実施内容	1 子ども会に対して、会員数に応じた運営助成金を交付した。 2 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により代替行事となったものもあったが、子ども会大会やドッジボール大会など区子ども会連合会行事の開催に向け、運営を支援した。また、区子ども会連合会のホームページで、子ども会活動を紹介するなどの情報発信を支援した。 3 区民まつりにおいて区子ども会連合会として初参加し、令和3年度に参加したドリームプロジェクトの紹介として子ども達の夢をのせたトラックの披露やトラックの乗車体験、紙工作体験のブース運営を支援した。
実績	区子ども会連合会の行事再開に向けた活動及び魅力ある子ども会活動に向けた情報発信を支援した。
総括	新型コロナウイルス感染症の影響があるなかで、区子ども会連合会の行事再開に向けた支援を行ったが、参加学区は少ない状態であった。そのため、今後も引き続き、積極的な情報発信と魅力ある活動実施に向けた支援が必要である。

1. 令和5年度事業内容等

No.	30	事業名	思春期セミナーの実施	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署(所)	—		
趣 旨	講話や体験をととして、いのちの大切さを学び、性について考え行動する力を身につけるセミナーを、区内の小学校、中学校と連携して行う。				
事業予定	1 小学校におけるセミナーの開催 感染対策 各学校の実施状況や課題に関して、啓発・相談支援を実施する。主に未実施校の4年生を対象にいのちの大切さを学べるよう、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化 2 中学校におけるセミナーの開催 感染対策 性に関する知識を学ぶ講話を中心に実施する。 [講話内容]人生設計と性の自己決定(望まない妊娠防止)、身近な相談先 3 中学校(特別支援級)におけるセミナーの開催 感染対策 健全な性意識を持てるように、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の変化、プライベートゾーン、人との距離感				
計画目標	・ 思春期保健の啓発・セミナーの実施 ・ 小学校 24 校 中学校 11 校				

2. 令和4年度の実施結果

(評価:☆☆☆)

計画目標	思春期セミナーの実施 小学校 23 校 中学校(特別支援級含む) 8 校
実施内容	1 小学校 主に4年生を対象に命の大切さを学べるよう、講話や体験学習を実施。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験 2 中学校 性に関する知識を講話中心として実施。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化、人生設計と性の自己決定、身近な相談先を知る [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験、デートDV劇 3 中学校(特別支援級) 健全な性意識を持てるように、講話や体験学習を実施。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化、プライベートゾーン、パーソナルスペース体験 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験 4 中川区養護教諭 望まない妊娠の実情について講話を実施。中学校などの実施に向けた必要性について啓発の機会とした。
実績	小学校 22 校、中学校(支援級含む) 9 校で実施
総括	新型コロナウイルス感染症の影響下、主体的に実施できる学校もみられ始めた。経年で実施しつつある学校の定着を図るとともに、未実施校については実施できる機会を検討していく必要がある。中学校においては望まない妊娠への予防・啓発の機会を勧めていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	31	事業名	高校生向け思春期保健事業		区分	継続
担当課	保健センター保健予防課		関係部署（所）		—	
趣 旨	人工妊娠中絶は母体の心身への影響が懸念されている。望まない妊娠や 10 代の妊娠中絶を防止するために、思春期の時期から「いのちの大切さと正しい性知識」を普及することが必要である。 そのため、区内の高校と連携し若者が望まない妊娠や性感染症を自ら回避する力を身につけるため、高校生向けの事業を開催する。					
事業予定	各高校が思春期セミナーを継続して実施できるように、学校保健委員会などで啓発する。未実施校については、いのちの大切さと正しい性知識についての講話を実施できるよう情報提供等相談支援を行う。 感染対策 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化、人生設計と性の自己決定、人工妊娠中絶・避妊・性感染症について、子どもの権利、身近な相談先を知る [そ の 他]リーフレットおよび相談先カードの配布					
計画目標	思春期保健の啓発・セミナーの実施 2 校					

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆)

計画目標	高校における思春期セミナーの開催 2校
実施内容	高校主体で命の大切さと正しい性知識を学べるよう、講話および体験を実施。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化、人生設計と性の自己決定、LGBT、人工妊娠中絶・避妊・性感染症について、子どもの権利、身近な相談先を知る [そ の 他]リーフレットおよび相談先カードの配布
実績	思春期セミナー開催 1校
総括	学校主体で実施できている高校もある。今後も実施状況を共有しながら、高校での思春期セミナーの定着を目指し、課題の共有と相談対応等継続する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	32	事業名	生活保護世帯等の中学生の学習支援	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	支所区民福祉課		
趣 旨	生活保護世帯・ひとり親家庭の中学生に対し、学習会への参加を促し、学力向上、高校進学をめざす。				
事業予定	5月に生活保護世帯・ひとり親世帯の中学1年生から3年生を対象とした世帯に学習支援事業についてのパンフレットを送付し、地区担当員による家庭訪問などにより参加を勧奨する。また、8月から随時募集で新たな参加者を募る。参加した児童の状況を事業者とも連携して見守り、必要な助言支援を地区担当員から行う。 <u>感染対策</u>				
計画目標	学習支援への参加率 30%（継続参加率 90%）				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	学習支援への参加率 30%（継続参加率 90%）
実施内容	5月に生活保護世帯・ひとり親世帯の中学1年生から3年生を対象とした世帯に学習支援事業についてのパンフレットを送付し、地区担当員による家庭訪問などにより参加を勧奨する。また、8月から随時募集で新たな参加者を募る。参加した児童の状況を事業者と連携して見守り、必要な助言支援を地区担当員から行っている。
実績	学習支援への参加率 25.0%（継続参加率 93.5%）
総括	参加者数は少ないものの、参加した児童は学習の習慣はつき、事業の目的である高校進学による将来的な経済的自立の土壌づくりに寄与するとともに、家庭や学校以外の居場所や相談先として有用となっている。 家庭訪問、電話、手紙などを活用し、上記の点について粘り強く説明し、保護者、児童の理解を深め、参加者数の増加に努める必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	33	事業名	「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けての取り組み	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	誰もが自分らしく安心して暮らせるよう区地域包括ケア推進会議を中心として「地域包括ケアシステム※1」の深化・推進をめざす。				
事業予定	1 地域包括ケア推進会議等の開催 感染対策 地域包括ケアシステムにおける課題の集約と対応方針、支援体制を検討するために以下の会議を開催し、各機関の連携を図るとともに、効率的・効果的な会議運営を行う。 （１）区地域包括ケア推進会議（区の地域包括ケアシステム構築の推進母体） （２）認知症専門部会（認知症の普及啓発、地域ネットワークの構築など） （３）生活支援部会（生活支援ニーズの把握や情報の見える化など） （４）孤立（虐待）防止ネットワーク部会（地域支援ネットワークの推進など） 2 地区診断※2等を受けての取り組み 感染対策 蓄積した地域の情報や新たな統計調査データを基に地域課題を分析し、地域と協働した対応を進める。また、区全域で運動機能低下者割合が高い課題について、多様な活動主体と連携した情報提供や地域の取り組みにつなげる。				
計画目標	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 2回以上 ・生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 各2回				

※1 地域包括ケアシステム

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・介護予防・在宅医療と介護の連携・認知症施策・生活支援・住まいが包括的に確保される仕組み。

※2 地区診断

地域包括ケアに関わる各機関が、把握している学区ごとのニーズ、社会資源等の情報や統計データ等に基づき、地域の課題等を分析し、共有するもの。

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 2回以上 ・生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 各2回
実施内容	1 地域包括ケア推進会議等の開催 新型コロナウイルス感染症拡大に注意し、区地域包括ケア推進会議を2回、認知症専門部会を3回、生活支援部会を2回、孤立（虐待）防止ネットワーク部会2回、各会議対面で開催し、関係機関と情報共有、意見交換を行った。 2 地区診断等を受けての取り組み 区内の各地域で行われている介護予防の取り組みについて調査し、関係機関で情報共有を行った。また、個別の地域課題に対する取り組みを継続するとともに、新たに昭和橋学区において地域ケア会議を実施し、地域課題について地域住民をはじめ関係機関と協議を行った。
実績	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 3回 ・生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 各2回
総括	医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業者、民生委員等、医療・介護・地域福祉に関わる多くの機関と各種取り組みの方向性や内容について情報共有・意見交換を行い、地域包括ケアシステムの深化推進を図ることができた。今後、コロナ禍で変化した地域の状況も把握し、より議論を深めていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	34	事業名	認知症を理解し地域で支える仕組みづくり	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みづくりを進める。				
事業予定	1 認知症サポーター養成講座の開催 感染対策 認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための講座を地域や関係機関と連携して周知し開催する。 2 認知症セミナー・講演会の開催 感染対策 認知症に関する専門職の知見を聴くことで認知症の予防や支援につなげるための区民向けのセミナーを区医師会等と連携し実施するほか、講演会を開催する。 3 「中川区認知症のしおり」の普及啓発 認知症になったときに進行に併せて利用できる医療・介護サービスや相談先を紹介する「中川区認知症のしおり」を関係機関の窓口や認知症専門部会事業等で説明・配布し、普及啓発する。				
計画目標	・認知症サポーター養成講座受講者数（令和5年度末までの累計）16,200人 ・認知症セミナー・講演会を実施 各1回				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	・認知症サポーター養成講座受講者数（令和4年度末までの累計）14,500人 ・認知症セミナー・講演会を実施 各1回
実施内容	1 認知症サポーター養成講座の開催 月1回の定例講座を開催した他、出張講座を12回、休日講座を2回開催した。また、区職員に講座を実施し区職員受講率100%を達成するとともに、他公所（署）へ受講勧奨を行った。 2 認知症セミナー・講演会の開催 令和4年11月6日（日）に認知症セミナーを開催し、85名が参加した。令和4年11月16日（水）に認知症講演会を開催し、74名が参加した。 3 「中川区認知症のしおり」の普及啓発 関係機関職員が中川区版認知症のしおりを使用し、窓口での相談時に認知症当事者、家族などへの説明を行うとともに、認知症サポーター養成講座、認知症講演会で配布した。また、家族介護者、認知症専門職、その他関係機関と協議し、内容の改訂を行った。
実績	・認知症サポーター養成講座受講者数（令和4年度末までの累計）12,383人 ・認知症セミナー・講演会を実施 各1回
総括	認知症サポーター養成講座受講者数はコロナ禍後の講座中止や参加者減少もあり、目標値に達しなかった。参加者増加のために定例講座をはじめ、休日講座やオンライン受講についても地域や事業所への周知広報をしていく必要がある。認知症セミナー・講演会、認知症のしおりによる認知症の正しい知識の普及は関係機関と連携して取り組みを進めることができた。今後も効果的な取り組みとなるよう関係機関と協議して進めていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	35	事業名	高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	高齢者の生活支援ニーズを把握し、気軽に利用できるよう取り組みの充実を図り、高齢者を適切な関係機関につなげる仕組みづくりを進める。				
事業予定	1 生活支援ガイドブックの更新 高齢者の生活に役立つ区内で提供される多様な生活支援サービス・活動を案内するガイドブックについて、更新し普及啓発を図る。 2 地域活動の参加促進 感染対策 講演会と地域活動の紹介を行うセカンドステージセミナーを多様な媒体で広報し開催することで、地域活動と関わりが少なかった方の参加勧奨を行う。また、地域活動紹介動画のオンライン配信により地域活動の参加を促す。 3 高齢者サロン・共生型サロン実施の推進 感染対策 高齢者の身近な交流の場である高齢者サロン・共生型サロンの拡大・充実のため、開設・運営における情報提供、相談支援や専門職の派遣を実施する。 4 覚え書きカードの活用 緊急連絡先、民生委員、ケアマネジャー、かかりつけ医等を記入するカードを配布し、訪問時や緊急時に関係機関と連携した支援を図る。 5 数え100歳のお祝い 数え100歳に達する高齢者のご長寿をたたえ、敬老金の贈呈（市事業）に併せて保育園児作成のメッセージカードを贈呈する。				
計画目標	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和5年度末） 122 か所				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和4年度末） 122 か所
実施内容	1 生活支援ガイドブックの更新 サロンや支えあいの活動等、互いに助けあう地域の取り組みや高齢者が生活する上での役立つ情報を記載した更新版を作成した。 2 地域活動の参加促進 感染対策 令和4年11月26日（土）に地域活動の参加を促すセカンドステージセミナーを実施し、85名が参加した。また、地域活動の紹介動画を作成し、オンライン（YouTube）にて配信した。 3 高齢者サロン・共生型サロンの実施を推進 サロン交流会を実施しサロン同士の情報交換を実施した。また、サロンの開催状況を確認しサロンマップを更新した。 4 覚え書きカードの活用 民生委員、ケアマネジャーへ覚え書きカードの配布方法について説明するとともに、関係機関や地域の会合で覚え書きカードを配布し周知を行った。 5 数え100歳のお祝い 数え100歳の高齢者へ保育園児作成のメッセージカードを贈呈した。
実績	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和4年度末） 119 か所
総括	地域住民、民生委員等から高齢者の生活ニーズを聞き取り、支援につなぐ取り組みを進めた。今後も生活支援につなげる多様な手法を検討する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	36	事業名	地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制の推進		区分	新規
担当課	福祉課	関係部署（所）	社会福祉協議会、支所区民福祉課、民生子ども課、保健センター保健予防課			
趣 旨	分野別の既存の枠組みを超えた、相談支援、参加支援及び地域づくり支援を一体的に実施することにより、制度の狭間の問題や複合的な課題を抱える世帯に寄り添い、伴走する支援体制の構築を進める。					
事業予定	1 包括的相談支援チームによる支援 感染対策 保健福祉に関する資格を持つ者や、相談支援経験を積んだコミュニティソーシャルワーカー等で構成される「包括的相談支援チーム」により、以下の事業を行い、適切な支援が届いていない世帯や複合的な課題を抱える世帯を伴走型支援や複数機関と連携した支援につなぐ機能を強化する。 （１）多機関協働事業（複合的課題への相談支援機関の役割分担の整理） （２）アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（訪問等による支援世帯との関係構築、継続的な相談支援） （３）参加支援事業（支援世帯の状況に応じた社会とのつながりづくり） （４）地域づくり支援事業（世代や属性を超えて利用できる社会資源の拡充） 2 区連携会議の開催 感染対策 重層的支援体制整備事業における相談支援機関の連携体制の協議、情報共有及び区で必要な取り組みの検討を行う、区連携会議を開催する。					
計画目標	区連携会議の開催 2回					

1. 令和5年度事業内容等

No.	37	事業名	障害者の地域生活支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	総務課、支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	区障害者自立支援連絡協議会※との連携などを通じて、障害者の地域生活支援の充実を図る。				
事業予定	1 区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 感染対策 障害福祉に関する事例検討会や障害福祉サービス事業者向けの勉強会などを開催し、支援者間の連携・スキルアップをめざす。コロナ禍で対面実施が困難な場合はオンラインなどにより継続的な実施を目指すとともに、WEB 会議サービスのグループ分け機能などを活用して議論の活性化を目指す。 2 私の防災ノート及び在宅避難のすすめなどの普及啓発 感染対策 障害者やその支援者が災害に対する備えを十分にすることができるよう、障害部門のみではなく他機関等とも連携しながら、私の防災ノートや在宅避難のすすめについての広報や、出張なるほど講座の開催など、障害者の防災に係る普及啓発を行う。				
計画目標	・区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 15 回以上 ・私の防災ノート、在宅避難のすすめに係る講座などの実施 1 回以上				

※障害者自立支援連絡協議会

障害のある方が安心して暮らせる地域をつくるため、障害者団体・障害福祉サービス事業者・行政などが障害福祉に関する地域での連携や支援の体制などを話し合う会議。

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 12 回以上 ・私の防災ノート、在宅避難のすすめに係る講座などの実施 1 回以上
実施内容	1 区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 障害福祉に関する事例検討会や障害福祉サービス事業者向けの勉強会を対面で13回、オンラインで2回行った。 2 私の防災ノート及び在宅避難のすすめなどの普及啓発 区総合防災訓練に参加し、訓練ブースにおいて、私の防災ノート等の普及啓発を行った。このほか、中川消防署と合同で火災図上訓練を実施した。
実績	・区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 15 回 ・私の防災ノート、在宅避難のすすめに係る講座などの実施 1 回
総括	事例検討会などの実施のほとんどを対面で行うことができ、議論を深めながら、支援者間の連携・スキルアップを図ることができた。今後も支援の現場から地域課題を吸い上げ、連携強化につながる形で実施する必要がある。 私の防災ノートに係る講座については、車いす体験等と合わせて行うことにより、障害者への配慮をより深める形で啓発を行うことができた。また、消防署との合同訓練は、専門機関からの指導・助言により高い効果が得られた。今後も他機関と連携するなど効果的な普及啓発の方法を考えていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	38	事業名	障害の理解の促進	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会を実現するために、区障害者自立支援連絡協議会を中心に様々な機会を設けるなどして障害の理解の促進を図る。				
事業予定	1 チームメッセンジャー事業※の実施 感染対策 社会福祉協議会など他機関と連携しながら、障害者（メッセンジャー）やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて障害に関する出前講座を行う。 2 区民まつりへの出展 感染対策 障害について身近に感じられるよう、区民まつりに区民が障害者やその支援者と一緒にボッチャの体験などができるブースを出展する。 3 授産製品販売の促進 感染対策 障害者の社会参加や地域とのつながりづくり、また障害者の就労支援にもつなげるため、事業所との連絡調整などを行い区役所・支所での授産製品販売を促進する。また、各事業所などで扱っている授産製品の広報を行う。				
計画目標	・チームメッセンジャー事業の実施 3回以上 ・区民まつりへの出展 1回 ・授産製品販売の実施 月あたり15回以上				

※チームメッセンジャー事業

障害に対して正しい理解をもていただくために、障害のある方やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて障害に関する出前講座を行うもの。

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	・チームメッセンジャー事業の実施 2回以上 ・区民まつりへの出展 1回 ・授産製品販売の実施 月あたり20回以上
実施内容	1 チームメッセンジャー事業の実施 社会福祉協議会の福祉教育などと連携し、区内の小学校・高校で車椅子体験等の出前講座を3回実施した。 2 区民まつりへの出展 ボッチャ体験ブースを出展し、区民と障害者やその支援者との交流を深めた。 3 授産製品販売の促進 区役所・支所での授産製品販売を月あたり10回実施した。コロナ禍で販売を見合わせる事業所が多く販売回数が目標を下回ったので、代替として広報なごや11月号の区民版の障害者福祉の特集に合わせ、各事業者が取り扱っている授産製品の紹介記事を掲載した。
実績	・チームメッセンジャー事業の実施 3回 ・区民まつりへの出展 1回 ・授産製品販売の実施 月あたり10回(代替あり)
総括	チームメッセンジャー事業や区民まつりへの出展により区民が障害に対する理解を深めるきっかけづくりを行うことができた。今後も障害者と区民が実際に交流する場づくりを行う必要がある。 授産製品販売については、販売回数が回復傾向にあるものの、目標を下回ったので、事業所との連絡調整などにより区役所・支所での販売日数をふやすとともに、広報に力を入れる必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	39	事業名	区民の健康づくりの推進	区分	継続
担当課		保健センター保健予防課	関係部署（所）	—	
趣 旨		がんは早期発見による早期治療が可能なため、全年齢に対してがん検診の必要性を普及啓発していく。特に、乳がんは自己触診法で発見できるため、講座を開催し知識の普及を行う。あわせて、健康で豊かな生活のため、ロコモティブシンドロームなどの知識を普及し、生活習慣病の予防につなげる。			
事業予定		1 がん検診の普及啓発 子育て中の母親や高齢者の集まるサロンなどで、がん検診の積極的な啓発・案内を行い、受検率の向上を目指す。 2 乳がん講座の開催 <u>感染対策</u> 主に乳がん検診の実施時に合わせて乳がんに関する講座を開催し、ブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）の案内や乳がんモデルを活用した自己触診法の説明を行う。 3 健康相談の実施 <u>感染対策</u> 区民まつりなどで健康相談のほか、血圧測定や推定野菜摂取量の測定などを行うことで幅広い市民の健康相談ニーズに応え、生活習慣病やフレイル予防につなげていく。			
計画目標		・乳がん講座の開催 4回 ・出張健康相談の実施 1回			

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆)

計画目標	・乳がんの講座の開催 4回 ・区民まつりで健康相談の実施 1回
実施内容	1 がん検診の普及啓発 新型コロナウイルス感染症の影響により多くのサロンが中止・縮小されたが、保健センターの窓口に来庁された方や区民まつりに参加された方などへの積極的な案内や、パンフレットの配付・配架を行った。 2 乳がん講座の開催 地域の子育てサロンや区民まつりで若年層を中心に乳がんモデルを用いた自己触診法の説明を行い、乳がん検診の受検を積極的に案内した。また、乳がん検診時に自己触診法の普及啓発を行った。 3 健康相談の実施 区民まつりで約80名の方の健康・歯科・栄養に関する相談や血圧測定、検診案内等を行い、相談者の生活習慣の改善や適切な受診行動につなげることができた。
実績	・乳がん講座の開催 2回（代替あり） ・区民まつりで健康相談を実施 1回
総括	令和3年度に引き続きコロナ禍による市民の外出自粛や事業縮小の影響があったが、今後はWithコロナの中で事業の積極的実施と内容の充実化を目指す。特に、市民の健康については、ロコモ予防からより内容を充実させた「フレイル予防」に拡大し、市民のニーズに合った効果的な取り組みを行う必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	40	事業名	区民まつりの開催	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		西・中央・東地区の公園を巡回して開催し、地域の歴史・文化の発信やスポーツの振興など、地域の特色に合わせた企画を充実させることで、区民のふれあいや交流の推進と中川区に対する誇りや愛着の醸成を図る。			
事業予定		・ 区民まつりの開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和5年10月29日（日） [場 所] 荒子公園 [内 容] ①地域特色を活かした事業 前田利家公ゆかりの地である荒子地区の特色を活かす事業として、戦国時代をテーマにした企画等を実施する。 ②ふれあい交流事業 区民が中心となって活動するグループ等から出演者を募集するステージイベントのほか、世代を超えて楽しむことができる体験ブースや各種ゲーム、模擬店などを実施する。			
計画目標		区民まつりの開催 1回			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	区民まつりの開催 1回
実施内容	10月23日（日）に、8年振りとなる富田公園での区民まつりを開催した。地域特色を活かした事業として名古屋市指定文化財である伝統的祭事「戸田祭り」から「からくり人形」をそろえ、からくりの実演を行ったほか、農業が盛んであるという特性を活かした農業関係のクイズラリー等を実施し、まつりには約39,000人が来場した。
実績	区民まつりの開催 1回
総括	区民まつりとしては3年振りに現地で開催でき、3年前を上回る多くの区民に会場いただいた。来場者へのアンケートにおいても「とても良かった」又は「良かった」との回答が95%を超え、満足度も高かった。 会場設営経費等が高騰しているため、今後の開催にあたっては、ブース出展の形態の見直しや、更なる協賛金の確保等を進める必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	41	事業名	スポーツ・生涯学習の推進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		スポーツ推進委員、体育協会、各種スポーツ関係団体と協力したスポーツ大会や美術展などの文化活動を通じて、心身ともに健康で明るい生活を築き、広く区民に参加していただくことにより、区民のふれあいと交流の推進を図る。			
事業予定		1 区スポーツ祭の開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和5年4月～令和6年3月 [場 所] 市内各種スポーツ施設 [内 容] 学区対抗で各種スポーツ大会の開催 感染状況に応じて観戦者の制限、来賓の縮小等により参加者総数の縮小を図るとともに、大会開催時間の短縮を図り開催する。 2 区民美術展 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和5年10月 [場 所] 区役所講堂 [内 容] 区民の制作した美術作品の展示と入選作の選考 区民が身近で実際に美術作品に接する機会とするために、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底して開催する。			
計画目標		・スポーツ大会の開催 14回 ・区民美術展の開催 1回			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・スポーツ大会の開催 15回 ・区民美術展の開催 1回
実施内容	1 スポーツ大会の開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和4年4月～令和5年3月 [場 所] 市内各種スポーツ施設 [内 容] スポーツ大会の開催 参加者は事前申込制とし、当日記入したチェックシートを会場に持参する等の新型コロナウイルス感染対策をとり行った。また、式典・来賓・参加者以外の観客は可能な限り縮小し、密をさけ、大会の時間を短縮した。 2 区民美術展の開催 <u>感染対策</u> [実施時期] 令和4年10月 [場 所] 区役所講堂 [内 容] 区民の制作した美術作品の展示と入選作の選考 基本的な感染対策を徹底して選考会・展示を開催した。また、デジタルアート部門を新設し、区民美術展への幅広い年代からの出展につなげることができた。
実績	・スポーツ大会の開催 14回 ・区民美術展の開催 1回
総括	区主催スポーツ大会を参加人数の削減や手指の消毒など新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえで14回開催することができた。大会会場で一緒に競技を行い交流することでスポーツを通じて区民のふれあいと交流を推進することができるため、コロナ禍においても安心安全に大会を開催することが課題である。令和5年度についても新型コロナウイルス感染状況に対応した感染対策を徹底したうえで大会を開催する必要がある。 区民美術展では令和4年度より新設したデジタルアート部門に10代から17点・80代から1点の出品があり、幅広い年代の出品につなげることができたが、来場者アンケート回答の約半数が70代以上であったため、幅広い年代に来場してもらえるようにしていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容

【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	42	事業名	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～子どもたちが創る未来の中川運河づくり～		区分	新規
担当課	地域力推進室		関係部署（所）	住宅都市局、上下水道局		
趣 旨	中川運河が地域住民にとって身近な憩いの水辺空間となることを目指し、子どもたちが中川運河に集い、将来の姿を思い描く機会を設け、子どもの想いを未来の中川運河づくりにつなげる。					
事業予定	・ 中川運河サマープログラムの実施 感染対策 子どもたちが参加して、食べられる植物を植えた緑の回廊を設置し、中川運河の歴史や未来の構想について学ぶことができるパネル展示を行う。併せて、水辺空間の活用を実験的に体験できる場や、住民目線で運河の将来像・理想像について考える場を設け、子どもたちの意見としてまとめる。					
計画目標	中川運河サマープログラムの実施 1回					

1. 令和5年度事業内容等

【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	43	事業名	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～戸田の伝統文化がつなぐまちづくり～	区分	継続
担当課	支所区民生活課	関係部署（所）	—		
趣 旨	戸田の歴史や産業といった特色を魅力として発信するとともに、4年に一度の大祭を行う「戸田祭り」の歴史と魅力を子どもたちはじめ次の世代への伝承を促進することにより、区への愛着を育み、コミュニティ力の向上につなげる。				
事業予定	1 鉄道会社とタイアップしたウォーキングイベントの実施 感染対策 令和4年度に設置した「戸田祭り魅力発信ボード」を活用し、鉄道事業会社とタイアップして、戸田の伝統文化を紹介するウォーキングイベントを実施する。 [実施時期]未定 2 富田地区の魅力を紹介する展示コーナーの新設 鎌倉時代に作成された荘園絵図の複製品や千音寺遺跡からの出土品、尾張名所図会で紹介された史跡など、地元の歴史や伝統を紹介する資料の常設展示コーナーを支所内に設置する。				
計画目標	・ウォーキングイベントの実施 1回 ・展示コーナーの新設				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	・郷土学習での活用 9校（富田支所管内の小学校） ・イベント実施 1回
実施内容	1 戸田祭り伝承の記録 10月に開催された大祭の様様や地元の語り部への取材など戸田祭りの歴史と魅力を記録した映像を作成した。 2 戸田祭り魅力発信ボードの設置 5つの山車が格納されている神社に、戸田祭りについて知ることができる案内板を設置し、案内板の二次元コードからからくりの動画を見ることができるようにした。 3 戸田のまちの魅力発信イベント 設置した案内板を巡り、戸田のまちの魅力を発見するまち歩きイベントを3月12日に開催し、300名が参加した。また、戸田のまちの魅力発信マップを作成した。
実績	・郷土学習での活用 0校 ・イベント実施 1回
総括	戸田祭り保存会の協力により、充実した記録映像や魅力発信ボードを完成させることができた。年度末の完成となったため、活用実績は0校だが、コミュニティ力の向上につなげていくためには、子どもを中心に一人でも多くの住民に映像等を見てもらえるよう、今後も活用を進めていく必要がある。また、魅力発信ボードについてもウォーキングイベントでの活用等を図る必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	44	事業名	川を生かしたまちづくり	区分	拡充
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	土木事務所、環境事業所		
趣 旨	区名の由来となった中川運河をはじめ、7つの河川が流れる豊かな水辺環境に親しみを持ち、興味や関心を深めるきっかけを提供し、魅力を発見・発信するとともに、区民のふれあいや交流の機会とする。				
事業予定	1 庄内川多世代ふれあい事業 <u>感染対策</u> 愛知県ボート協会との協働で水辺に親しみ、庄内川の魅力を知るボート部の学生との交流により、庄内川に関心や興味を深めることを目的としたボート教室を実施する。 2 戸田川地域ふれあい事業 <u>感染対策</u> 戸田川上流域にて地域団体等と協働し、地域住民や企業などの参加による大清掃を実施する。 3 新川の魅力発見 <u>感染対策</u> 【新規】 新川及びその流域の魅力発見を目指し、まち歩き等の散策イベントを実施する。				
計画目標	庄内川、戸田川及び新川の魅力発信事業の実施 各1回				

2. 令和4年度の実施結果

(評価:☆☆)

計画目標	中川運河、庄内川、戸田川及び荒子川の魅力発信事業の実施 各1回
実施内容	1 中川運河の魅力発見 船上と地上の双方からの視点で中川運河の魅力を発見するまち歩きイベントを12月10日に開催し、26名が参加した。 2 庄内川多世代ふれあい事業 愛知県ボート協会との協働で、庄内川への関心や興味を深めることを目的としたボート教室を7月31日に開催し、18名が参加した。 3 戸田川地域ふれあい事業 戸田川上流域にて「戸田川発見隊」と協働し、地域住民や企業などの参加による大清掃を11月3日に開始し、160名が参加した。 4 荒子川の魅力発見 荒子川の環境美化と魅力発見を目的としたプロギングを3月25日に予定したが、雨天のため中止となった。
実績	中川運河、庄内川、戸田川の魅力発信事業の実施 各1回
総括	各事業について概ね計画どおり実施することができたが、今後も川を生かしたまちづくりを進めていくためには、他の河川をフィールドに事業を実施する等、河川の魅力の掘り起こし等を行っていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	45	事業名	未来へつなげよう、ものづくりのまち中川	区分	継続
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	—		
趣 旨	これからを担う子どもたちに、中川区の特色であるものづくりの魅力を伝えていくことで、中川区に対する誇りを醸成し、愛着を深める機会とする。				
事業予定	・中川区ものづくり見学・体験会の実施 <u>感染対策</u> 区内のものづくり企業などの協力を得て、小・中学生を対象とした工場見学やものづくり体験を実施する。より多くの方々へものづくりの魅力を伝える観点から、区内小学校の社会見学ができるよう、協力企業を紹介するなどの連携を図る。				
計画目標	中川区ものづくり見学・体験会の実施 1回				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	中川区ものづくり見学・体験会の実施 1回
実施内容	区内ものづくり企業2社の協力を得て、8月26日（金）に、小・中学生を対象とした「GoGo 工場！中川区ものづくり見学・体験会」を実施し、25名が参加した。
実績	中川区ものづくり見学・体験会の実施 1回
総括	実施時期を夏休み期間中としたことで、定員を上回る応募があった。また、参加者の満足度も100%と高い数値だった。今後は、費用対効果を考慮し、より多くの方に還元できるような事業となるよう、企画内容を検討する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	46	事業名	まちの歴史文化を伝える・広める	区分	継続
担当課		地域力推進室、支所区民生活課	関係部署（所）	—	
趣 旨		区内の歴史・文化財・街道などの幅広い魅力を積極的に発信し、ふれあいや交流を図るイベントを実施することで、訪れたいまちを目指すとともに、地域で活動する団体と協働することで、区民とともに郷土愛の醸成を図る。			
事業予定		1 郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業 感染対策 （1）区内見どころのガイドボランティア活動の支援 「はっけん・たんけん・中川区まちの魅力発信隊」のワークショップを通してガイドのレベルの底上げを行うほか、ガイドボランティアにおいて、「利家ロード～槍の又左と歩む道～」を活用する。 （2）区内見どころマップ類の刷新等検討 犬千代ルート及び各街道マップの内容確認と刷新の検討を行う。 （3）区民まつりにおける区内の魅力発信 区民まつりにおいて、区内の魅力発信と活動紹介及び隊員募集を行う。 （4）区内まち歩きイベントの実施 魅力スポットを巡る、まち歩きイベントを実施する。 2 富田地区のふれあいあるまちづくり 感染対策 富田地区ウォーキング大会 [実施時期] 令和6年3月（仮）			
計画目標		区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回
実施内容	1 郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業 （1）区内見どころのガイドボランティア活動の支援 ワークショップを11回開催し、活動支援を行った。 （2）区内見どころマップ類の刷新等検討 みどころマップの刷新内容の最終確認を行い、改訂を行った。 （3）区民まつりにおける区内の魅力発信 ブースを出展し、区内の魅力発信と活動紹介及び隊員募集を行った。 （4）区内まち歩きイベントの実施 3月5日（日）に荒子界限で実施し、38名が参加した。 2 富田地区のふれあいあるまちづくり 富田地区ウォーキング大会 [実施時期] 令和5年3月21日（火・祝）に実施し、138名が参加した。
実績	区民まつりにおける区内の魅力発信、区内まち歩きイベント、富田地区ウォーキング大会の実施 各1回
総括	ガイドボランティアは、令和3年度に比べて依頼件数が増加した。郷土の文化を明日に伝える・情報発信事業は「はっけん・たんけん・中川区 まちの魅力発信隊」の活動によるところだが、持続的な団体の運営を支援する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	47	事業名	ナッピーによるふれあい・啓発活動	区分	拡充
担当課	地域力推進室	関係部署(所)	—		
趣 旨	中川区マスコットキャラクター「ナッピー」と「ハボン」を活用し、区の取り組みや魅力を効果的にPRしていくとともに、認知度の向上を目指す。				
事業予定	1 「ナッピー」の着ぐるみを活用した啓発活動 感染対策 2 「ナッピー」と「ハボン」のデザインを活用した啓発品の作成 3 「ナッピー」と「ハボン」を活用した広報なごや紙面の作成 4 「ナッピー」と「ハボン」のバックパネルの制作 【新規】 5 「ナッピー」商標登録の出願 【新規】				
計画目標	ナッピーを活用した啓発活動 40回（広報なごや以外の媒体への掲載を含む） ナッピーの認知度 50%				

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	ナッピーを活用した啓発活動 40回（広報なごや以外の媒体への掲載を含む） ナッピーの認知度 50%
実施内容	1 「ナッピー」の着ぐるみを活用した啓発活動 キャンペーンやイベント等の機会を捉えて、着ぐるみを活用した啓発活動を行った。(22回使用) 2 「ナッピー」と「ハボン」のデザインを活用した啓発品の作成 交通安全を始めとした啓発品の作成にあたり、キャラクターデザインを活用した。 3 「ナッピー」と「ハボン」を活用した広報なごや紙面の作成 キャラクターの立ち位置を意識した活用を行うことで、キャラクターの区民への浸透を図った。 4 「ナッピー」のLINEスタンプを活用した啓発活動 機会を捉えてLINEスタンプの周知を行い、購入者の使用により啓発に繋げることを狙った。(年間購入者46人) 5 「ナッピー」のぬいぐるみを活用した啓発活動 区内小中学校にぬいぐるみを贈呈し、児童・生徒に向けて啓発を行った。 6 「ナッピー」18歳の選挙啓発活動 ナッピーが18歳になる機をとらえ、統計選挙係と連携し、選挙ポスター作成及び区内高校等での出前授業への参加を行い、選挙啓発に活用した。
実績	ナッピーを活用した啓発活動 42回（広報なごや以外の媒体への掲載を含む） ナッピーの認知度 52%
総括	特に子どもを対象とした場合、効果的な啓発には「ナッピー」の認知度を上げることが重要となり、区役所内の各課はもとより、区内公所、団体においても、キャラクターデザインを活用していただくことが必要である。一方で、今後も「ナッピー」を継続的に活用していくためには、商標権等、権利を整理することが必要である。

1. 令和5年度事業内容等

No.	48	事業名	ベジファーマーの育成	区分	継続
担当課	中川農政課	関係部署(所)	—		
趣 旨	農家の高齢化や後継者不足が区内の農業振興の課題となっていることから、新たな農業の担い手「ベジファーマー※1」を育成するとともに、名古屋市農地バンク制度※2を活用した農地の保全を図る。				
事業予定	1 ベジファーマー育成講座の開催 感染対策 受講希望者を令和4年度実績並みに受け入れるとともに、受講者サービスを維持できるようテキスト内容、講師のサポート体制等を改善し、新たな農業の担い手を育成する。 2 農地バンクへの登録勧奨 制度について講座内で周知し、受講者に借受希望者登録を勧める。農家の方に実体験を話していただき新規就農を身近に感じてもらう機会を提供する。				
計画目標	・ベジファーマー育成講座の受講生 16名 ・講座修了者の農地バンク借受希望登録者数 7名				

※1 ベジファーマー

野菜づくりを通して地産地消と緑豊かなまちづくりに取り組む新たな農業の担い手。

※2 名古屋市農地バンク制度

農家が管理できなくなった農地を市に登録し、一定の条件を満たす希望者に紹介して貸借を支援する制度。

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	・ベジファーマー育成講座の受講生 12名 ・講座修了者の農地バンク借受希望登録者数 5名
実施内容	1 ベジファーマー育成講座の開催 感染対策 応募者多数のため、受講人数を募集人数(＝目標人数)より急遽増やした。内容についても、栽培技術だけでなく、農との触れ合いの大切さや農業経営の厳しさといった、農との向き合い方についても学べる講座を開催した。 2 農地バンクへの登録勧奨 制度について講座内で周知し、受講者に借受希望者登録を勧めた。市内で活躍している若手農業者に実体験を話していただき新規就農を身近に感じてもらう機会を提供した。
実績	・ベジファーマー育成講座の受講生 16名 ・講座修了者の農地バンク借受希望登録者数 5名
総括	令和4年度は受講生を大幅に増やしたが、栽培技術などの農作業において講師の指導が十分に行き届かない場面等が散見された。今後は受講生が多少増加しても受講者サービスが維持できるよう運営等を改善していく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	49	事業名	地域の特産農産物のPR	区分	継続
担当課		中川農政課	関係部署(所)	—	
趣 旨		中川区発祥の伝統的な農産物(野崎白菜・名古屋ちりめんハボタン)や、トマト、水耕ネギ・みつばなど地域で栽培が盛んな農産物について、学校や農業者、企業等と連携し広報PRを行い、地元農産物に対する愛着意識の醸成や地産地消の推進を図る。			
事業予定		中川区発祥農産物の紹介チラシの配布や地元研究会の活動支援、及び以下の取組みにより地域の特産農産物のPRを行う。 1 イベントの活用 感染対策 11月に区役所駐車場にて「中川区地産地消フェア2023」を開催するとともに、6・11月に農業文化園で開催される「野菜マルシェ」に参画するなどし、地産地消の取組みを通じた区内農産物のPRを図る。 2 区内学校における中川区発祥農産物の栽培 感染対策 区内小・中・特別支援学校に、授業や部活動等で生徒に栽培してもらい、育てたハボタンの苗の一部を地産地消フェアで参加者に配布する。 農政課による栽培日誌をツイッター等で発信し、学校栽培の参考にしてもらう。			
計画目標		・地産地消フェアの開催(年1回) ・野菜マルシェへの参画(年2回) ・学校栽培 野崎白菜7校 名古屋ちりめんハボタン5校			

2. 令和4年度の実施結果

(評価:☆☆☆)

計画目標	・地産地消フェアの開催 年1回 ・野崎白菜栽培校 5校 ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 5校
実施内容	1 農産物の広報 新たに作成した中川区発祥農産物の紹介チラシの作成や地元研究会の活動支援、及び以下2、3の取組みにより地域の特産農産物のPRを実施した。 2 地産地消フェアの開催 感染対策 11月5日(土)に区役所駐車場にて「中川区地産地消フェア2022」を開催したほか、6月25日(土)、11月26日(土)に農業文化園で開催された「野菜マルシェ」に参画するなどし、地産地消の取組みを通じた区内農産物のPRを図った。 3 区内学校における中川区発祥農産物の栽培 感染対策 応募のあった区内小・中・特別支援学校に資材を提供し、授業や部活動等で生徒に栽培してもらい、地元農産物に対する愛着意識の醸成を図った。
実績	・地産地消フェアの開催 年1回 ・野崎白菜栽培校 7校 ・名古屋ちりめんハボタン栽培校 5校
総括	令和4年度は、協力学校でのハボタンの栽培が不調で、11月の中川区地産地消フェアで(学校栽培のハボタンを)来場者に配布するという目標が達成できなかった。良い経験として子供たちの心に残してもらうためにも、栽培が成功するよう、学校に対しこれまで以上のサポート支援が必要である。

1. 令和5年度事業内容等

No.	50	事業名	さまざまなメディアを活用した情報発信	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		広報なごや区版をはじめ区公式ウェブサイト、SNS、地域コミュニティ誌などさまざまなメディアを活用し、より多くの方に中川区の魅力を伝えていく。			
事業予定		1 広報なごや区版、区公式ウェブサイト、SNS による情報発信 2 地域コミュニティ誌などのメディアへの積極的な情報提供			
計画目標		広報なごや区版の閲覧率 55% SNS による発信件数 120 件 各メディアへの情報提供 12 件（毎月1件以上）			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	広報なごや区版の閲覧率 55% SNS による発信件数 100 件 各メディアへの情報提供 12 件（毎月1件以上）
実施内容	1 広報なごや区版、区公式ウェブサイト、SNS による情報発信 広報なごや区版の表紙を意識した紙面作りを行うことで、閲覧率の向上を目指した。また、ウェブサイトや SNS による情報発信も積極的に行った。 2 地域コミュニティ誌などのメディアへの積極的な情報提供 地域コミュニティ誌等に対して情報提供を行うことで積極的に情報発信を行った。（年間 40 回掲載） 3 インスタグラムを活用した魅力発信 画像を用いた区の魅力発信にあたり、インスタグラムを積極的に活用した。 4 名古屋市観光コンベンションビューローと連携した魅力発信 イベントの広報にあたり、名古屋コンシェルジュ等の観光情報ツールを活用した。 5 なごや歴史探検アプリなどを活用した魅力発信 犬千代ルート等をなごや歴史探検アプリに掲載しており、活用についてまち歩きイベントで広報を行った。
実績	広報なごや区版の閲覧率 68% SNS による発信件数 217 件 各メディアへの情報提供 44 件
総括	広報なごや区版の閲覧率が令和3年度と比べ上昇したほか、すべての目標について令和3年度を上回った。イベント等が再開されているなか、事業PRのため、さらに積極的な情報発信を行っていく必要がある。また、それぞれの広報媒体の特徴を活かした、効果的な情報発信・魅力発信を今後も継続的に行う必要がある。

その他の取り組み つながりづくりに向けた取り組み

1. 令和5年度事業内容等

No.	51	事業名	町内会・自治会の加入促進	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		町内会・自治会に関心を持ち、加入するメリット等を周知することで町内会・自治会への加入を促進し、地域コミュニティの活性化につなげる。			
事業予定		1 町内会・自治会加入促進チラシの配布 町内会・自治会の活動を分かりやすくまとめた、加入促進チラシを作成し、転入者等への配布、区政協力委員等による加入案内の支援を実施し、不動産関係団体との連携、加盟事業者に加入促進チラシの配布協力を依頼する。区内各郵便局に配架を引き続き依頼する。 また、区公式ウェブサイトにおいて加入促進チラシを掲載することにより、若年層を含めたインターネットを活用する人へも加入促進を図る。 2 加入促進ポスの設置等による町内会・自治会への取次ぎ 外観を目立つように工夫して、加入促進ポスを区役所情報コーナーに設置する。問い合わせのあった町内会・自治会への取り次ぎを実施する。 また、区公式ウェブサイトからインターネットによる町内会・自治会への取り次ぎを実施する。 3 共同住宅の建築確認情報の提供 共同住宅が新築される学区に対し、年4回、建築確認情報を提供し、町内会長等による町内会・自治会加入案内の支援を行う。			
計画目標		町内会・自治会加入チラシの配布枚数 10,500 枚			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	町内会・自治会加入チラシの配布枚数 10,500 枚 町内会・自治会の活動紹介チラシの作成
実施内容	1 町内会・自治会加入促進チラシの配布 【拡充】 町内会・自治会加入促進チラシを作成し、転入者等への配布、区政協力委員等による加入案内の支援を実施し、不動産関係団体との連携、加盟事業者に加入促進チラシの配布協力に加え区内各郵便局に配架を依頼した。 2 町内会・自治会の活動紹介チラシの作成 【新規】 町内会・自治会の活動を分かりやすくまとめたチラシを作成し、区政協力委員に配布し、加入案内支援を実施した。 3 加入促進ポスの設置等による町内会・自治会への取次ぎ 外観を目立つように工夫して、加入促進ポスを区役所情報コーナーに設置する。問い合わせのあった町内会・自治会への取り次ぎを実施した。 4 共同住宅の建築確認情報の提供 共同住宅が新築される学区に対し、年4回、建築確認情報を提供し、町内会長等による町内会・自治会加入案内の支援を行った。
実績	町内会・自治会加入チラシの配布枚数 10,500 枚 町内会・自治会の活動紹介チラシの作成
総括	町内会・自治会加入促進チラシの効果は決して大きくはないものの、確実に転入者等と町内会・自治会をつなげる仕組みとなっている。町内会・自治会離れに歯止めをかける根本的な対策について地域とともに検討する必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和5年度事業内容等

No.	52	事業名	区民の声を区政に反映	区分	継続
担当課		企画経理室、総務課	関係部署（所）	—	
趣 旨		区の将来の方向性に関することや区政運営の取り組みなどについて、幅広く意見をお聞きする機会を設けることで、区民の区政への関心を高め参画をすすめる。			
事業予定		1 区民会議等の開催 感染対策 区民意見の聴取のために区民会議を2回開催する。意見収集の場「なかが話」では、区民会議構成員からの推薦者だけではなく公募や区内の高校に協力を仰ぐなど、様々な年齢層や考えを収集するために工夫を行い開催する。 また、収集した意見について、区役所内でより積極的な共有を行う。 2 区民アンケートの実施 区民2,000人を対象とした区民アンケートを実施し、中川区将来ビジョンにおける成果指標の評価及び今後の施策を含めた区政に関する意見について聴取する。 3 提案箱の設置 区役所・支所に引き続き提案箱を設置し、区民からの提案・意見を随時収集することで事務改善等を行い、区民サービスの向上につなげる。			
計画目標		・区民会議（意見収集の場「なかが話」を含む）の開催 3回 ・区民アンケートの実施 1回			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・区民会議（意見収集の場「なかが話」を含む）の開催 3回 ・区民アンケートの実施 1回
実施内容	1 区民会議等の開催 感染対策 区民意見の聴取のために区民会議を2回開催した。第2回開催時は、会議の場においてより意見を聴取するため、一部資料を事前送付した。意見収集の場「なかが話」では、各学区から幅広い年齢層の人を誘致し、中川区の将来について話し合い、その中で多様な意見やアイデアが出された。参加者からも「区政や中川区の将来について関心が高まった」という声が多く聞かれた。 2 区民アンケートの実施 11月18日～12月9日に実施。次期区将来ビジョンを検討する上で参考にするために、新たに福祉と区に何を求めているかという質問項目を加えた。 3 提案箱の設置 37件の提案・意見があり、事務改善につなげた。
実績	・区民会議（意見収集の場「なかが話」を含む）の開催 3回 ・区民アンケートの実施 1回
総括	「区民会議」第2回開催時において、一部資料を事前送付したが特に意見等はなかったものの当日文書での回答を得ることができた。また、「なかが話」では、年代も住まいも分散し、参加者同士で普段関わりあいが少ない方々でグループを作ったことにより、課題や改善策についても多種多様な意見が生まれた。 今後も引き続き事前に情報提供が行えるよう議題の作り方を工夫し、意見収集の場「なかが話」においては、高校生などの若い世代の意見も得られるようグループ構成に配慮し、より自由に幅広い意見を出せる機会を作るとともに区民アンケートを含め、区民の声をより施策に反映させていく必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和5年度事業内容等

No.	53	事業名	利用しやすい区役所づくりの推進	区分	継続
担当課		総務課ほか	関係部署（所）	—	
趣 旨		接遇・窓口対応能力の向上や庁舎環境の改善を図るなど、利用しやすく親しまれる区役所をめざす。			
事業予定		1 接遇・窓口対応能力の向上 区民ニーズが多様化する中、職員自身が窓口サービスに必要なスキルや課題を協議し、接遇・窓口対応能力向上を図る研修を実施することで、窓口サービスの向上に役立てる。さらに具体的な事例を用いた事務改善研修を実施し、職員の意識向上を図る。 また、認知症サポーター養成講座の全職員の受講を引き続き推進する。 2 快適な庁舎環境の整備 国籍や年齢に関わらず、来庁した区民の方が快適に庁舎を利用できるよう区民目線に立った庁舎環境の改善を進める。			
計画目標		接遇・窓口対応能力の向上を図る研修の実施 2回			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	接遇・窓口対応能力の向上を図る研修の実施 2回
実施内容	1 外部講師を活用した窓口サービスの向上 ・外部講師による接遇・CS 向上セミナーを4回開催し、接遇・窓口対応能力の向上を図った。 ・全職員が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に関する正しい知識と理解の普及啓発を推進した。 2 庁舎環境の改善 ・各課に消毒用品を配布し、カウンターやフロア内の消毒作業を行った。 ・駐車場内の見通しをよくするための樹木の剪定・伐採のほか、トイレの改修、雨漏りの修理などを行った。 ・接遇推進委員会にて、外国人や高齢者にとって利用しやすい区役所となるよう各所属が工夫している点等を共有し、庁舎環境を改善する際の参考とした。
実績	接遇・窓口対応能力の向上を図る研修の実施 4回
総括	接遇・CS 向上セミナーについては、接遇推進委員会で職員のニーズを把握したことにより、職務上必要な内容とすることができた。また、市内在住の外国人講師による多文化共生講座や中川警察署と連携した実践的な防犯訓練など、新たな分野に取り組むことができた。一方、各所属で進めている事務改善の事例を吸い上げて横展開するなど、職員の意識向上を図る必要がある。 トイレの改修など庁舎等の不具合解消に係る工事等を20件実施することができた。一方、これまで提案箱等で多くの意見をいただいた駐車場の混雑については、駐車スペースの拡充に向けた予算要求や適切な誘導に向けた警備員への指導等を実施したが、混雑解消までには至っていない。引き続き、駐車スペースの拡充やより円滑な誘導に向けて検討を進める必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和5年度事業内容等

No.	54	事業名	地域の皆さまとの協働による富田地区の魅力と情報の発信	区分	継続
担当課	支所区民生活課	関係部署（所）	—		
趣 旨	富田地区の魅力や地域活動の情報を発信することで、住民が地域活動に積極的に参画する契機とし、住民相互の交流を図り、連帯を深めることを目的とする。				
事業予定	- 地域の団体に、イベントの開催案内及び開催報告、地域活動の報告など、多岐にわたる情報提供を依頼し、より多くの広報ができるよう継続的に働きかけていく。 - 地域の団体、公共施設などを通じ、地域住民に富田地区の魅力スポットの情報提供の依頼を行い、富田地区の魅力発信を強化していく。				
計画目標	年間申請数 60 件以上				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	年間申請数 40 件以上
実施内容	- 富田支所の玄関に「とみだふれあい掲示板」を設置して、地域の情報を発信した。また、掲示板をイメージしやすいように募集チラシを刷新し、富田地区の各種団体を通じて、地域住民から掲示物を広く募集した。 - 新型コロナウイルス感染症等の影響により各種イベントが中止となり、地域からの掲示依頼は減少しているが、富田地区会館を始めとする支所管内の関係機関や区内関係公所からの事業案内を多く広報することができた。 - 富田地区の魅力発信に関しては、戸田祭り保存会と連携して、当日の案内はもとより、山車のコース案内や各割の練習風景を掲示し、4年に1度の大祭を来庁者に広く周知できた。戸田祭りを紹介するリーフレットを2種類作成して掲出した。
実績	年間申請数 66 件
総括	地域からの情報発信が少ない点は課題として残るが、富田地区の関係機関や公共施設からの事業案内は数多く発信できた。区政推進会議を通じて情報提供を依頼したこともあり、申請数は上期だけで昨年度実績を超えた。 魅力発信の点では、戸田祭りについて準備段階から密着し、多くの情報を発信することができた。今後は、他の魅力スポットについても情報収集・発掘し、富田地区の魅力発信を強化していく必要がある。

その他の取り組み 住民に身近な総合行政機関に向けた取り組み

1. 令和5年度事業内容等

No.	55	事業名	季節の花でおもてなし	区分	継続
担当課		中川農政課、地域力推進室、支所区民生活課	関係部署（所）	—	
趣 旨		来庁される皆さまに、癒しとやすらぎを感じてもらうため、区役所、支所の花壇を季節の花で彩る。			
事業予定		1 年間を通じた季節の花の植栽 (1) 区役所 ・年間を通じて季節の花苗の植栽や花壇の整備を行う。 ・区役所1階にボランティアによる玄関花を設置する。 (2) 支所 ・年間を通じて季節の花苗の植栽や花壇の整備をボランティアと協働で行う。 2 情報発信 植え付けに合わせて区役所公式SNSによる発信を行う。			
計画目標		区役所及び支所の花壇の植え付けの実施 各所3～5回			

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	区役所及び支所の花壇の植え付けの実施 各所3～5回				
実施内容	1 年間を通じた季節の花の植栽 (1) 区役所 ・年間を通じて季節の花苗の植栽や花壇の整備を実施した。 ・区役所1階にボランティアによる玄関花を設置した。 (2) 支所 ・年間を通じて季節の花苗の植栽や花壇の整備をボランティアと協働で実施した。 2 情報発信 植え付けに合わせて区役所公式SNSによる発信を実施した。				
実績	区役所の花壇の植え付けの実施 5回 支所花壇の植え付けの実施 3回				
総括	来庁者の目を楽しませ、区の花である「名古屋ちりめんハボタン」のPRを行うことができる効果もあり、今後も区民に身近で親しまれる区役所として庁舎環境の整備を継続していく必要がある。				

令和4年度終了事業

以下については、令和4年度をもちまして終了となった事業の実施結果のみを掲載しています。

めざすまちの姿 魅力あふれるまち 施策 まちの魅力の発掘・発信

No.	39	事業名	川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～前田利家公がつなぐまちづくり～		区分	継続
担当課	地域力推進室		関係部署（所）	土木事務所		
趣 旨	前田利家公ゆかりの地を巡る犬千代ルートにある「利家ロード～槍の又左と歩む道～」も含め、利家公の魅力を発信し、中川区に対する誇りや愛着の醸成を図る。					

令和4年度の実施結果

（評価：☆ ）

計画目標	前田利家オリジナル商品取扱店の拡充 3店舗
実施内容	・「利家ロード～槍の又左と歩む道～」について、広報なごや中川区版7月号において特集し、活用促進を図った。また、前田利家オリジナル商品取扱店については一柳通商店街の5店舗についても併せて掲載することで制度を周知した。 ・ガイドボランティアの活動において、「利家ロード～槍の又左と歩む道～」を活用した。
実績	前田利家オリジナル商品取扱店の拡充 0店舗
総括	前田利家オリジナル商品取扱店については、新規登録には至らなかったが、今後も継続的に参加の促進を行っていく必要があるほか、「利家ロード～槍の又左と歩む道～」については、ガイドボランティアの活動や生涯学習センターの講座において、今後も継続的に活用していく必要がある。

※令和5年度は「まちの歴史文化を伝える・広める」の中で実施します。

令和 4 年度終了事業

以下については、令和 4 年度をもちまして終了となった事業の実施結果のみを掲載しています。

めざすまちの姿 魅力あふれるまち 施策 まちの魅力の発掘・発信

No.	45	事業名	中川区みんなで歌おう第九コンサート	区分	新規
担当課	地域力推進室	関係部署（所）	中川文化小劇場		
趣 旨	区民が一体となってコンサートを創り上げるにより、地域の連帯感を生みコミュニティの醸成と文化振興を図り、中川区のさらなる発展につなげる。				

令和 4 年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	来場者アンケート満足度 95% 合唱参加者アンケートで次回も参加したい、参加を検討すると答えた人 90%
実施内容	中川区出身の指揮者の下、区民を中心に結成された合唱団がプロのオーケストラやソリストとともに「第九」を歌う、「中川区みんなで歌おう第九コンサート」を3月19日に実施し、190名が合唱に参加し、906名が来場した。
実績	来場者アンケート満足度 95% 合唱参加者アンケートで次回も参加したい、参加を検討すると答えた人 96%
総括	合唱には、幅広い年齢層の多数の区民が参加し、地域の連帯感の醸成の上で効果があったとみられる。今後の開催にあたっては、更なる区民の参加を求めていくことが必要である。

3 令和5年度の主な予算

(1) 自主的・主体的な区政運営にかかる予算

各区が自主的・主体的に地域づくりを推進するための事業

区 分	主な取り組み内容	予算額 (千円)
安心・安全 きれいなまち	○災害対応体制の強化 ○防犯対策の推進 ○自転車乗車時のヘルメット着用推進	870
みんなに やさしいまち	○子育て支援に関する情報発信 ○地域における子育て支援の人材育成と活動促進 ○高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	1,719
魅力 あふれるまち	○区民まつりの開催 ○川を生かしたまちづくり ○ナッピーによるふれあい・啓発活動	6,874
その他の 取り組み	○町内会・自治会の加入促進 ○区民の声を区政に反映 ○地域の皆さまとの協働による富田地区の魅力と情報の発信	1,311
合 計		10,774

(2) 区の特성에応じたまちづくり事業にかかる予算

歴史・風土等区の特성에基ついて、区が主体となって実施する事業

取り組み内容	予算額 (千円)
○災害に強い「ひと・まちづくり」事業	910
○地域が行う防犯活動に対する重点的支援事業	201
○川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～子どもたちが創る未来の中川運河づくり～	4,215
○川と歴史を人がつなぐまちづくりプロジェクト ～戸田の伝統文化がつなぐまちづくり～（富田地区の魅力発信事業）	2,100
合 計	7,246

4 区まちづくり基金

区にゆかりのある方や区民の皆さまの、区のまちづくりへの想いを活かすための基金です。詳しくは、区情報コーナーにあるリーフレットをご覧ください。か、市公式ウェブサイトで「区まちづくり基金」を検索してください。

○区の特性に応じたまちづくり事業への区まちづくり基金活用（予定）額

令和5年度：1,519,000円

5 関係公署（所）の取り組み

●中川警察署

電話 354-0110

「安心」して暮らせる「安全」な中川区を実現するため、犯罪の検挙に努めるほか、区民の皆さまと防犯活動に取り組むとともに、管内情勢を踏まえた交通指導取締りや交通安全教室の充実などにより、犯罪及び交通死亡事故の抑止に努めます。

●中川消防署

電話 363-0119

大規模地震などの大規模災害に備えるため職員と消防団員の連携を密にして、地域防災力の更なる向上を図るため自主防災組織の訓練を行い、地域にある事業所と支援協力を促進します。

また、消防署に見学スペースを設けて、親しまれ開かれた消防署をめざしています。

●中川環境事業所

電話 361-7638

「快適できれいなまち」をめざして、確実なごみ・資源・し尿収集を行うとともに、区民の皆さまとの協働により、不法投棄及びごみ散乱の防止に努めます。

また、区民まつりや転入者向けに開設する「ごみ案内所」などの機会に、ごみ・資源の分別について分かりやすく周知します。

●中川土木事務所

電話 361-7581

道路・公園・河川の施設について、計画的な維持管理を行うことにより区民の皆さまの安心安全の確保に努めます。

また、皆さまから寄せられる通報や要望に対して速やかな対応に努めます。

●上下水道局中川営業所

電話 352-2511

地震などの大規模災害に備えて、災害用備蓄飲料水「名水」を販売し、飲料水の備蓄を呼びかけるとともに、防災訓練などに積極的に協力することで、防災意識の啓発を図ります。

●中川区社会福祉協議会

電話 352-8257

中川区における福祉のまちづくりやボランティア活動の活性化を区民の皆さまと共に考えて取り組み、地域福祉を推進します。

●中川生涯学習センター

電話 362-3883

地域の生涯学習の拠点として、区の魅力・特色を活かしたまちづくりや防災等に関する講座・事業の実施及び自主学習グループの活動の支援など、区民の交流と地域活動の発展に努めます。

●中川図書館
富田図書館

電話 353-5311
電話 432-5313

区内の各種資料・情報を収集・整理するとともに、市民の生活に役立つ図書館をめざして、多くの方に利用される図書館づくりに努めます。

●中川文化小劇場

電話 369-1845

令和5年度は「天井等落下防止対策工事」のため休館します。休館中も事務室にて受付業務はじめ公演の情報発信やチケット販売等、劇場文化・市民文化活動の支援に取り組みます。

これからも地域文化の拠点として、安全・安心と文化を届けます。

●露橋スポーツセンター

電話 362-4411

スポーツを身近に感じていただけるよう「スポーツ教室」の開催、「運動指導者の派遣」、無料開放イベント「スポーツフェスタ in 露橋」などを行います。今後も地域に密着したスポーツ活動の推進に取り組みます。

●富田北プール

電話 431-8991

スポーツに親しむきっかけづくりや健康づくりのため、安全で快適な施設運営を行います。各種スポーツ教室や無料開放イベント「スポーツフェスタ in 富田北」を行うなど、気軽に参加できる講座などを開催します。四季の気温に応じた快適な水温室温で温水プールを運営します。

また、フードドライブ（ご家庭で食べきれない手付かずの食品をお持ち寄りいただく受付会場）を通年で実施しています。

●西部児童相談所

電話 365-3231

子どもの福祉を図るとともにその権利を擁護するために、区役所・支所等と適切な協働・連携・役割分担を図りつつ、子どもに関する家庭その他からの相談に応じ、子どもが有する問題または子どもの真のニーズ、子どもの置かれた環境の状況等を的確に捉え、個々の子どもや家庭に適切な援助を行います。

6 区役所の組織及び連絡先

所属	課・室	係・担当	電話	事業 No.
中川区役所	総務課	庶務係	363-4306	52, 53
		防災担当	363-4309	1, 2, 3, 4, 5, 6
		統計選挙係	363-4311	—
	中川農政課	農政担当	363-4360	8, 48, 49, 55
	企画経理室		363-4383	52
	地域力推進室	地域力推進係	363-4319	9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 51
		生涯学習担当	363-4326	28, 41, 55
		安心・安全で快適なまちづくりの企画担当	363-4321	40, 42, 44, 45, 46, 47, 50
	市民課	戸籍係	363-4332	—
		住民記録係	363-4334	—
	民生子ども課	民生子ども係	363-4402	29
		子ども家庭支援担当	363-4413	7, 18, 20, 21, 23, 24, 25, 26, 27
		保護係	363-4407	32
	福祉課	高齢福祉係	363-4415	33, 34, 35, 36
		障害福祉係	363-4403	37, 38
	保険年金課	管理係	363-4343	—
		保険係	363-4346	—
富田支所	区民生活課	庶務係	301-8365	43, 46, 54, 55
		市民係	301-8241	—
	区民福祉課	保護・子ども係（児童担当）	301-8361	—
		保護・子ども係（保護担当）	301-8366	—
		福祉係（高齢担当）	301-8376	—
		福祉係（障害担当）	301-8378	—
		保険係	301-8143	—
中川保健センター	健康安全課	企画管理係	363-4452	—
		食品衛生・動物愛護等担当	363-4457	17
	保健予防課	保健感染症係	363-4461	—
		公害保健担当	363-4464	—
		感染症対策等担当	363-4462	39
		保健看護担当	363-4465	19, 22, 30, 31
	富田分室		303-5321	—

名古屋市中川区役所区政部企画経理室
〒454-8501 名古屋市中川区高畑一丁目223番地
電 話 : 052-363-4383 FAX : 052-363-4316
E-mail : a3634304@nakagawa.city.nagoya.lg.jp